資料１

議案第１号

令和７年度
中海・宍道湖・大山圏域市長会
事業報告

目次

１　事業実施概要 ‥‥p. 1

２　一般会計

１．事務局運営費

（１）事務局運営費 ‥‥p. 2

2. 事業費

（１）活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

①圏域企業の産業連携支援事業

・圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング‥‥p. 3

・産学・医工連携事業 ‥‥p. 5

②圏域内企業の海外展開支援事業

・海外商談会参加等支援事業 ‥‥p. 7

・インドとの経済交流事業 ‥‥p. 8

・台湾との経済交流事業 ‥‥p. 10

③山陰いいものマルシェプロジェクト

・山陰いいものマルシェプロジェクト ‥‥p. 13

（２）訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

①一社）圏域観光局への負担金

・一社）圏域観光局への負担金 ‥‥p. 14

（３）次世代につなぐ圏域づくり（環境の充実）

①自然環境の保全・活用事業

・自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発 ‥‥p. 15

（４）ともに歩む圏域づくり（連携と協働）

①圏域情報の共有・発信

・圏域内外のエリアプロモーション ‥‥p. 19

②圏域内の連携・交流推進

・圏域内の連携・交流推進 ‥‥p. 20

・人材育成の共同化 ‥‥p. 22

・文化・スポーツ交流促進事業 ‥‥p. 24

・中海・宍道湖レガッタ開催支援事業 ‥‥p. 26

・移住・定住促進事業 ‥‥p. 27
③安心して暮らすことのできる環境づくり事業
・防災対策の充実 ‥‥p. 30

３　特別会計

（１）環日本海貨客船航路就航支援
①定期貨客船航路就航支援補助金 ‥‥p. 31

参　考　令和７年度　中海・宍道湖・大山圏域観光局事業報告

（１）一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局令和７年度決算額一覧表（別紙①）
（２）一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局事業報告（別紙②）
①観光振興の取り組みについて ‥‥p.　1
②令和７年の圏域内観光動向について ‥‥p.　3
③01_ブランディング ‥‥p. 13
④02_マーケティングリサーチ ‥‥p. 15
⑤03_プロモーション ‥‥p. 19
⑥04_受入環境整備 ‥‥p. 24
⑦06_小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業 ‥‥p. 26
⑧07_加入団体会費等 ‥‥p. 27

1　事業実施概要

令和７年度は、新たに策定した第３期地方版総合戦略に基づき、圏域人口 60 万人維持を基本目標とし、県境を越えた広域連携施策の展開に取り組んだところである。

インドとの経済交流事業では、「圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会」への業務委託により、ケララ州の学生等（IT 等理系分野）に対する圏域内企業へのインターンシップ及び日本語教育を実施し、ケララ州の IT 等人材の圏域内企業への就職及び日印企業連携の推進を図った。また、令和７年 10 月に市長会を代表し５市の首長らが経済界の代表とともに訪印し、平成 27 年 12 月にケララ州政府と締結した MOU（経済交流覚書）を更新した。

台湾との経済交流の促進については、中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会を中心として、ビジネスマッチングやオンラインセミナーの開催、フード台北への出展補助など、台湾においてビジネス展開を企図する事業者支援を行うとともに、日台企業の連携によるデジタル技術を活用した地域課題の解決に繋げるため、台日産業連携推進オフィス（TJPO）と協力し、台湾の IT 企業と圏域内企業のマッチングを図る商談会を開催した。また、台北温泉祭・春節前建国花市において圏域の特産品や観光に関する情報発信に努めた。

また、環日本海定期貨客船航路について、航路の定着・継続を確保し、定期的な就航を促すため、鳥取県と協調し運航に必要な経費の一部を支援した。

さらに、圏域の将来を担う子どもたちの自然を大切にする意識を育み、地域への愛着を醸成する取組である「子ども探検スクール」を９会場で開催した。また、ラムサール条約登録 20 周年を記念して、ラムサール条約にゆかりのある水辺を周遊するデジタルフォトスタンプラリーを実施し、圏域の次代を担う子どもたちへ、豊かな水環境の保全・再生や賢明な利用について広く普及啓発を行った。

観光の取組では、インバウンド対策として、アドベンチャーツーリズムの商品造成、販売を行ったほか、韓国での TV ショッピング支援などや、民間事業者が台湾現地で実施するセールスコールへの支援を行った。また、国内対策においては、小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とし、中海・宍道湖・大山圏域 40 スポットをめぐるスタンプラリーの実施や、YouTube アニメとタイアップして圏域６か所でグッズ販売をするなど、圏域周遊の促進を図ったところである。

〇一般会計　　15 事業　　120,911 千円　（※事務局運営費を除く）
〇特別会計　　1 事業　　17,100 千円
事業検証については、中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で実施。

一般会計

1.事務局運営費

（1）事務局運営費

事業名等	事務局運営費			
事業概要		予算現額		9,313,000 円
中海・宍道湖・大山圏域市長会事務局の運営にかかる経費。 圏域市長会の円滑な運営を図るため、市長会規約第11条第1項の規定に基づき、事務局を置く。		決算額		9,189,969 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	3,881,039 円
			特定	5,308,930 円
		前年度決算額		8,583,200 円

1．事業内容

⑴ 各種会議の開催

総会	3回	8/ 5・ 2/10・ 3/27（書面）
幹事会	3回	7/15・11/21・ 1/26
企画担当課長会	6回	5/ 2・ 6/30・10/ 9・11/17・ 1/20・ 3/26
産業振興担当課長会	2回	4/24・ 9/30
観光振興担当課長会	4回	5/12・11/12・12/22・ 3/17
環境保全担当課長会	2回	4/23・10/ 8
総合戦略推進員会	1回	9/ 9

⑵ 事務局の運営

2．経費内訳

	現計予算額	R7決算額
会議費	600,000円	808,764円
旅費	300,000円	0円
需用費	800,000円	738,687円
役務費	550,000円	444,109円
委託料	40,000円	31,933円
使用料及び賃借料	1,823,000円	1,666,256円
備品購入費	200,000円	49,170円
工事費	0円	142,120円
人件費負担金①	5,000,000円	5,308,930円
計	9,313,000円	9,189,969円

○令和7年度人件費負担金①　一般第4期

	当初予算	R7決算額
米子市	1,250,000円	1,327,232円
松江市	1,250,000円	1,327,232円
出雲市	1,250,000円	1,327,232円
境港市	625,000円	663,617円
安来市	625,000円	663,617円
計	5,000,000円	5,308,930円

2.事業費

（1）活力にあふれる圏域づくり（産業振興）

02 事業費

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング			
事業概要		予算現額		11,453,942 円
圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」と連携し、圏域内企業の連携支援を行う。		決算額		10,911,253 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	10,911,253 円
			特定	0 円
		前年度決算額		10,251,977 円

１．事業内容

圏域内企業の取引拡大や連携促進等による圏域経済の活性化を図るため、圏域内の商工団体と行政で構成する「中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会」（事務局：松江市産業経済部 ものづくり産業支援センター）へ業務委託し、ビジネスマッチング商談・展示会の開催等を行った。

⑴ 圏域内企業情報データベースの情報発信

○圏域内企業間の産業連携や圏域外企業との新たな事業連携を促進するため、「圏域ものづくり.net」の掲載企業情報を充実させ、圏域内外企業へ情報発信を実施

「圏域ものづくり.net」実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
登録企業数(社)	695	707	707	724	733	746
全アクセス数(件)	525,415	619,575	659,958	602,205	658,894	893,262
月平均アクセス数(件)	43,784	51,631	54,996	50,183	54,908	74,438

⑵ 圏域内企業のビジネスマッチングの開催

○圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、10 月 23 日(木)、出雲だんだんとまとアリーナで「ビジネスマッチング商談・展示会 2025 in 出雲」を開催

「ビジネスマッチング商談会」実績

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
参加企業(社)	291	163	163	196	179	157	168
商談件数(件)	663	318	263	479	438	345	429
開催地	出雲市	オンライン		松江市	米子市	安来市	出雲市

※第 2 期地方版総合戦略の数値目標：R2～R6 商談件数累計 3,400 件（680 件/年あたり）

発注企業招致状況

年度	令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
会場	松江		米子		安来		出雲	
	エントリー	商談参加	エントリー	商談参加	エントリー	商談参加	エントリー	商談参加
機械金属系	37(20)	27(13)	27(14)	24(13)	33(14)	23(10)	30(12)	25(9)
飲料・食料品系	44(10)	39(7)	42(13)	38(12)	37(10)	31(7)	49(13)	43(10)
合計	81(30)	66(20)	69(27)	62(25)	70(24)	54(17)	79(25)	68(19)

※( ) 内は新規

エリア別商談件数

年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
会場	松江	米子	安来	出雲
圏域外⇔圏域内	375 件(78.3%)	310 件(70.8%)	272 件(78.8%)	357 件(83.2%)
圏域内⇔圏域内	43 件(9.0%)	39 件(8.9%)	30 件(8.7%)	25 件(5.8%)
圏域外⇔圏域外	61 件(12.7%)	89 件(20.3%)	43 件(12.5%)	47 件(11.0%)
合計	479 件	438 件	345 件	429 件




【ビジネスマッチング商談会の様子】

２．経費内訳

・中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会への委託料　8,856,381 円

・ものづくり産業支援センター職員人件費　2,054,872 円
※人件費総額 2,935,532 円の７割を負担

事業項目	01 圏域企業の産業連携支援事業			
事業名	産学・医工連携事業			
事業概要		予算現額		2,096,058 円
圏域内の商工団体、自治体、国立大学、国立工業高等専門学校、研究機関等で構成する「中海･宍道湖･大山圏域産学･医工連携推進協議会」と連携し、圏域内企業の産学･医工連携支援を行う。		決算額		2,096,058 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	2,096,058 円
			特定	0 円
		前年度決算額		9,562,795 円

１．事業内容

圏域の自治体、事業者、病院、国立大学等の産官学で行われている医工連携の取組促進により、産業振興、雇用創出等を図るため、圏域内の商工団体、自治体、国立大学等で構成する「中海・宍道湖・大山圏域産学･医工連携推進協議会」（事務局：米子市経済戦略課）へ業務委託し、産学・医工連携の取組における各種ニーズとシーズのマッチング機会の提供（入口支援）、研究への指導・助言等（開発支援）及び製品化された器具の販路開拓（出口支援）等、各段階における支援を行ってきた。

地域の高等教育機関等と連携しながら地元企業により 6 製品を開発する等、医療機器の開発という当初の構想に一定の役割を果たした一方、事業マッチングをメインとする現行の支援方式では、製品のビジネスとしての発展を見通すことが難しい状況となった。

この状況を踏まえ、令和 7 年 8 月 5 日、本協議会の解散議決のための臨時総会を開催し、令和 7 年 9 月 30 日をもって同協議会に対する産学・医工連携支援事業の委託を終了し、本事業は廃止することとなった。

⑴ 継続事業の相談業務等

協議会解散までの間、関係企業等（製造事業者、販売事業者ほか）が引き続いて開発を継続できるよう密に連携・協議するとともに、製造事業者が所在する県・市・支援機関に対して必要な情報提供を行った。

① 医療廃棄物容器電動開閉装置「ミューカス」の低価格化、広報・販売拡大
　開発事業者：㈱カノンほか 2 社　米子市
　改良担当事業者：㈱キシ・エンジニアリング　出雲市
② 被ばく放射線量管理システム「ラドファイルーX」の開発・市場化
　開発事業者：(合同)放射線測定システム　鳥取県大山町
③ 「救急車用ストレッチャー上肢台」の製品化・販売開始
　開発事業者：㈱キシ・エンジニアリング　出雲市

［実施状況］

上記の各開発事業者を訪問の上、現状及び今後の支援体制について説明し、一定の理解を得た。各事業者とも、継続的かつ主体的に引き続き開発に取り組んでいく。

⑵　開発製品のアフターケア

これまで開発・販売を支援してきた製品が継続して円滑に販売できるよう、協議会解散までの間、関係企業・行政機関・支援機関等と協議した。

①　胃マクラ（胃部レントゲン検診用補助器具）　(合同)放射線測定システム
②　エマークイックプロ（救急活動用感染防止器具）　鳥取県西部消防局・㈱カノン
③　トラキアボックス（医療現場用感染防止器具）　㈱メディビート・㈱カノン
④　ピーケンサ（歯周ポケット深さ測定器）㈱パタカラ・㈲出雲樹脂・千鳥福祉会持田寮
⑤　マスクサポート（マスク用補助具）　㈱ケイケイ
⑥　ミューカス（医療廃棄物容器電動開閉装置）
　　済生会境港総合病院・㈱カノン・㈲ニシモト・㈱日本マイクロシステム

［実施状況］

上記の各開発事業者を訪問の上、現状及び今後の支援体制について説明し、一定の理解を得た。



【これまでの開発製品の一例】

⑶　協議会記録集の発行

協議会の平成 28 年度の設立準備開始から、令和 7 年度の解散までにおける経緯、実績等を取りまとめた「記録集・医工連携推進協議会 10 年の軌跡」を、発行し、構成団体・賛助会員に送付するとともに、市長会ホームページに掲載した。

２．経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域産学･医工連携推進協議会への委託料　　2,096,058 円

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	海外商談会参加等支援事業			
事業概要		予算現額		3,000,000 円
海外で行われる商談会等に参加する圏域内の企業へ補助金交付等を行い、海外展開やインバウンドの推進に繋がる取組を支援する。		決算額		1,098,954 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	1,098,954 円
			特定	0 円
	前年度決算額			1,062,000 円

1．事業内容

圏域内企業における外国人観光客の誘致及び自社製品・技術等の海外への販路開拓に向けた海外商談会参加等の自主的な取組を支援するため、補助金を交付する。

(1) 海外商談会参加等支援補助金

○実　　績　9 事業所に対し 1,099 千円の補助金を交付（台湾 6 件、韓国 3 件）

No.	決定年月日	商談会名称	国名	商談会の分野	申請者の所在市	補助金額（円）
1	令和7年5月21日	フード台北2025	台湾	食品	松江市	150,000
2	令和7年6月19日	SENDEX 2025 リハビリ＆福祉博覧会	韓国	福祉	米子市	110,000
3	令和7年6月25日	AI　TWIWAN　未来商務展	台湾	IT	米子市	100,954
4	令和7年7月4日	台湾（高雄）商談会	台湾	観光	出雲市	150,000
5	令和7年7月4日				松江市	150,000
6	令和7年7月4日				安来市	150,000
7	令和7年7月4日				松江市	150,000
8	令和7年8月5日	江原医療機器展示会（GMES2025）	韓国	医療	米子市	17,000
9	令和6年6月2日	【R6事業】韓国現地商談会inソウル		観光	米子市	121,000
合計						1,098,954

○実施期間　令和 7 年 5 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

○募集期間　令和 7 年 5 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日

○補助対象　圏域 5 市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体

○補助金額　原則、補助対象経費の 1/2　　補助上限額 10 万円
ただし、韓国、中国、インド及び台湾での商談会等に参加する場合は補助対象経費の 2/3（補助上限額 15 万円）とする

補助金交付実績

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
補助事業者数	18	5	13	15	5	16
補助金額（千円）	2,898	663	1,818	2,834	308	1,364
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
補助事業者数	0	0	25	11	8	9
補助金額（千円）	0	0	3,600	1,552	1,062	1,099

2．経費内訳

・海外商談会参加等支援補助金　　1,098,954 円

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業
事　業　名	インドとの経済交流事業

事業概要				
インド・ケララ州との経済交流拡大を目指す覚書（MOU）の締結に基づき、企業進出やビジネスマッチング等の実現のため、密接な協力体制の構築支援、情報交換、視察交流等を行う。	予　算　現　額			29,430,000　円
	決　　算　　額			22,837,706　円
	財源内訳	国・県支出金		0　円
		補　助　金		0　円
		負　担　金	一般	15,810,136　円
			特定	7,027,570　円
	翌年度繰越額			5,720,000　円
	前年度決算額			10,187,849　円

１．事業内容

ケララ州の IT 等人材の圏域内企業への就職、日印企業連携推進を目的に、圏域の産業・経済団体、国立大学、山陰インド協会、自治体等で構成する「圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会」へ業務委託し、ケララ州の学生等（IT 等理系分野）に対する圏域内企業へのインターンシップ及び日本語教育を実施した。

ケララ州側が開催する「Japan Mela（ジャパンメラ）」（印日商工会ケララ主催）に出展し、圏域内企業の商談機会を設け、圏域内企業の海外進出支援を図った。

令和 7 年 10 月に市長会を代表し 5 市の首長らが経済界の代表とともに訪印し、平成 27 年 12 月にケララ州政府と締結した MOU（経済交流覚書）を更新した。

⑴　インド・ケララ州からの短期インターンシップ事業

インド・ケララ州の大学生（6 人・コチ理工大学/ラジャギリ工業技術大学/SCMS）

- R7. 7～R8.1　インターンシップ候補者の日本語教育実施
- R7.11　日本語試験を実施、招聘者を決定
- R8.1.24～2.8　インターンシップ実施



⑵　島根大学交換留学生の長期インターンシップ事業

①令和 6 年度選抜、7 年度実施

コチ理工大学、ラジャギリ工業技術大学、SCMS と連携し、令和 7 年度から理工系人材への拡大を実施。令和 6 年度に選抜した 5 名が来圏　(R7.10～R8.3)

②令和 7 年度選抜、8 年度実施

圏域内企業へのヒアリング内容を基に 3 大学（コチ理工大学、ラジャギリ工業技術大学、SCMS）と連携し、令和 7 年度から理工系人材への拡大を実施。4 名が来圏予定。

- R7.10　インターンシップ生募集
- R7.12.9　インターンシップ生 5 名決定（1 名辞退）
- R7.12～R8.9　インターンシップ候補者の日本語教育実施
- R8.10～R9.3　インターンシップ実施予定



③インド人材受入れ応援プロジェクト

インド人材受入れ経験豊富な企業が、受入未経験の企業をサポートする制度をトライアル実施。

④ナマステ交流ナイト in 松江

インド人材受入関係者の皆様が一堂に会し、意見交換及びネットワーキングを図るカジュアルな交流会を開催。

日時：令和 7 年 11 月 28 日（金）18 時 30 分

場所：松江オープンソースラボ　参加人数：42 名

【H28～R7 累計人数】短期・長期インターンシップ受入：88 人　圏域内企業就職者：18 人

⑶ MOU 更新に伴う訪印

5 市の首長らが経済界の代表とともに訪印し、平成 27 年 12 月にケララ州政府と締結した MOU を更新。新たな MOU では 9 分野を重点分野として設定し、実施計画の骨子を策定のうえ内容を拡充・具体化するとした。

① **訪印日程**： 令和 7 年 10 月 14 日～19 日

② **主な訪問先**：在インド日本国大使館（デリー）、ジャパンメラ及び MOU 調印式（コチ）、シンタイト・スパイス工場（コチ）、ラジャギリ病院（コチ）等

③ **訪印団構成**：中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、山陰インド協会、ジャパンメラ出展者



⑷ 日印交流イベント「Japan Mela（ジャパンメラ）」参加に対する支援

ジャパンメラに出展した 3 事業者に対し補助金を交付し、出展経費を支援した。

No.	決定年月日	申請者の所在市	補助金額（円）
1	令和7年8月18日	米子市	300,000
2	令和7年8月22日	松江市	300,000
3	令和7年8月29日	米子市	295,000
合計			895,000

⑸ MOU 各項目に掲げる事業を進めるため、MOU 更新後に推進体制を構築

MOU 更新後の事業推進体制（山陰インド協会、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会）を、協議のうえ決定した。

２．経費内訳

①中海・宍道湖・大山圏域インド人材受入・企業連携推進事業実行委員会への委託費
10,966,914 円

【内訳】

・インターンシップ 6,408,223 円
・日本語教育 4,405,000 円
・事務局費 153,691 円

② Japan Mela（ジャパンメラ）参加支援補助金 895,000 円
③ MOU 更新調印時の訪印旅費（首長分） 7,027,570 円
④ 事務局員訪印旅費及び雑費 3,948,222 円

３．令和 8 年度への繰越事業

末次公園マハトマ・ガンディー像設置工事費 5,720,000 円

設置個所の選定及びインド側との調整に不測の日数を要し、令和 7 年度内完成が困難となったことから、令和 8 年度へ明許繰越とした。（工期：令和 8 年 3 月 27 日から令和 8 年 5 月 25 日まで）

事業項目	02 圏域内企業の海外展開支援事業			
事業名	台湾との経済交流事業			
事業概要		予算現額		16,430,000 円
圏域企業の台湾市場における展開を促進するとともに、台北温泉祭、春節前建国花市に合わせて圏域 PR を行う。		決算額		15,721,274 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	15,721,274 円
			特定	0 円
		前年度決算額		12,476,297 円

1．事業内容

台北市との間で締結した交流促進覚書を具体化するため、中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会（事務局:圏域市長会）へ業務委託し、台湾市場への展開を目指す事業者への支援等を行った。

⑴ 台湾人材の雇用

令和 6 年 6 月 1 日に台湾国際交流員が着任。通訳・翻訳対応のほか、各市や企業からの相談対応、台北市等関係機関との連絡調整や協議を行った。

⑵ 販売戦略、商品・製品・サービス開発に向けた支援

台湾現地のコンサルタント会社（フェアコンサルティング台湾）へ業務委託し、市場調査、商談調整など、圏域企業の台湾ビジネス連携サポートを行った。
利用実績：台湾市場基礎調査 4 社、台湾進出個別相談 3 社

⑶ 台湾輸出商談会（ビジネスマッチング）の開催

日時：令和 7 年 10 月 23 日（木）
場所：出雲だんだんとまとアリーナ
参加：圏域内企業 17 社、台湾バイヤー2 社、日本国内商社 2 社
結果：圏域内企業 3 社が成約（「台湾 SOGO 日本物産展」への出展）



商談企業事前訪問


商談会の様子


商談会の様子

⑷ オンラインセミナーの開催

台湾輸出商談会及びフード台北向けの**台湾基礎セミナー**
日時：令和 7 年 10 月 1 日
講師：日本貿易振興機構（ジェトロ）鳥取貿易情報センター　小林紘之　所長
参加企業：10 社

⑸　フード台北 2025 への参加支援

出展企業：2 社（松江市：中浦食品㈱、㈱なかたか）
期間　　：令和 7 年 6 月 25 日～28 日
結果　　：中浦食品㈱：成約 2 件、㈱なかたか：成約 1 件





⑹　台北温泉祭での圏域情報発信

トップセールス、パンフレット配布・抽選による観光 PR、圏域観光情報の PR を実施。
日本からの出展ブースは 18 ブース、日本側参加者約 250 名。
期間　：令和 7 年 10 月 30 日～11 月 3 日
場所　：MRT 新北投駅周辺(台北市)
参加者：米子市伊木市長、米子市観光課、皆生温泉旅館組合、圏域観光局
延べ来場者数：290 万人以上






⑺　春節前建国花市での情報発信

ステージでの圏域 PR・クイズ大会、パンフレット配布による圏域観光 PR、試食提供による圏域物産 PR、文化交流（安来節の披露）、牡丹交流 20 周年記念事業、圏域観光情報の PR を実施。
期間　：令和 8 年 2 月 7 日～11 日
場所　：建国假日花市(台北市)
参加者：上定会長、松江市議会、松江市農政課・新産業創造課・国際観光課、米子市商工課、米子市企業（株式会社静香園、株式会社幸一）、境港市水産商工課、境港総合技術高等学校、境港市企業（有限会社梅崎水産）、圏域市長会・観光局
延べ来場者数：25 万人（5 万人/日×5 日）


境港総合技術高校　カニ汁ふるまい


安来節披露



圏域物産 PR

⑻ 台湾大学生インターンシップ受け入れ事業

日台間の持続可能な交流を推進することを目的とし、企業および行政と台湾の若手人材との交流を促進するとともに、産学官連携による圏域産業発展の推進とパートナーシップの強化、関係人口の創出を目指す。

R7. 4　インターンシップ協力企業、大学協議
R7.10　募集開始
R7.12　参加者決定、三者(市長会・大学・学生)契約を締結
R8. 7　インターンシップ実施

⑼ 台日産業連携推進オフィス（TJPO）圏域連携プロジェクト

日台企業の協力体制を築き、連携モデルを形成し、社会実験を通じて地域課題解決に向かう。地域の特性に根ざしたDX新事業の創出と、持続可能なサービス提供体制の構築を図り、地方創生と国際協力の新たな成功事例を創出する。

①TJPOの圏域訪問
期間：令和7年5月11日～14日（訪問視察は5月12日、13日）
訪問機関：圏域企業、行政機関、学校、産業支援組織等、計24団体(事務局含む)を訪問

②台湾スマートソリューション商談会・展示会2025 in 米子
期間：令和7年11月19日、20日
場所：米子コンベンションセンター　1F 情報プラザ
参加企業：台湾IT企業8社、マッチング企業・団体24社　計47商談


圏域視察


商談会の様子


台湾企業セミナー

２．経費内訳

中海・宍道湖・大山圏域台湾交流事業実行委員会への委託料	15,721,274円
【内訳】	
・　台湾人材の雇用	5,152,579円
・　販売戦略、商品、製品、サービス開発に向けた支援	2,874,750円
・　ビジネスマッチングの開催	1,013,538円
・　セミナー等の開催	0円
・　フード台北2025への参加支援	894,750円
・　台北温泉祭、春節目建国花市での圏域情報発信	4,591,807円
・　台湾大学生インターンシップ受け入れ事業	369,973円
・　TJPO圏域連携プロジェクト	702,346円
・　事務局運営費	121,531円

【参考】各市負担金の財源

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	3,742,260円

事業項目	03 山陰いいものマルシェプロジェクト			
事　業　名	山陰いいものマルシェプロジェクト			
事業概要	予　算　現　額			7,500,000　円
山陰の中核地域である中海・宍道湖・大山圏域の官民組織が連携し、山陰が誇る「いいもの」を再発掘するとともに、ＪＲ西日本等とタイアップし、全国へ情報発信をする。	決　算　額			7,500,000　円
	財源内訳	国・県支出金		0　円
		補　助　金		0　円
		負　担　金	一般	7,500,000　円
			特定	0　円
	前年度決算額			7,500,000　円

１．事業内容

JR 西日本、山陰中央新報社、ジェトロ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、圏域市長会の５者で構成する「山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会」（事務局：松江商工会議所）と協定を締結し、山陰いいものマルシェ及びマッチング商談会を開催した。

⑴　圏域内でのマルシェ及び商談会の開催

①「山陰いいものマルシェ in 松江」の開催

・開催日：令和７年 11 月 22 日（日）9:30-16:00
・会　場：松江駅北口周辺（ほこみち）・シャミネやくもロード
・出展者：39 店舗
・来場者：13,000 人







②山陰いいものマルシェマッチング商談会の開催

・開催日：令和８年３月 11 日（月）松江商工会議所で開催
・参加者：バイヤー　５社　／事業者　13 社　／商談数　31 商談
・バイヤー側の商談結果

□商品評価　15 件
□商品開発アドバイス　11 件
□販路開拓アドバイス　3 件
□担当者へ取次　2 件
□催事・試食(試飲)販売の出展を検討　5 件
□ギフト・通販の取扱い検討　15 件
□常設商品として取扱いを検討　8 件



２．経費内訳

山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会への負担金　7,500,000　円

（2）訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）

02 事業費

<table>
<tr><td>事業項目</td><td colspan="4">①一社）圏域観光局への負担金</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">一社）圏域観光局への負担金</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td></td><td colspan="2">予　算　現　額</td><td>45,879,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="6">一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局との協定に基づき、観光事業に対する負担金を支出する。</td><td colspan="2">決　　算　　額</td><td>45,879,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="4">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td></td><td>円</td></tr>
<tr><td>補助金</td><td></td><td>円</td></tr>
<tr><td>負　担　金</td><td>一般</td><td>45,879,000　円</td></tr>
<tr><td></td><td>特定</td><td>円</td></tr>
<tr><td colspan="2">前年度決算額</td><td>47,979,000　円</td></tr>
</table>

１．事業内容

○参考「中海・宍道湖・大山圏域観光局　令和 7 年度事業報告」のとおり

２．経費内訳

○参考「中海・宍道湖・大山圏域観光局　令和 7 年度事業報告」のとおり

（3）次世代につなぐ圏域づくり（環境の充実）

02 事業費

<table>
<tr><td>事業項目</td><td colspan="4">①自然環境の保全・活用事業</td></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="4">自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発</td></tr>
<tr><td rowspan="7">事業概要

圏域の次代を担う子どもたちへ、自然環境に関する学習機会の提供等を行い、圏域の自然の豊かさや環境保全について普及啓発を図る。</td><td colspan="3">予算現額</td><td>1,800,000 円</td></tr>
<tr><td colspan="3">決算額</td><td>1,434,435 円</td></tr>
<tr><td rowspan="5">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td></td><td>0 円</td></tr>
<tr><td>補助金</td><td></td><td>0 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">負担金</td><td>一般</td><td>1,434,435 円</td></tr>
<tr><td>特定</td><td>0 円</td></tr>
<tr><td colspan="3">前年度決算額</td><td>1,028,605 円</td></tr>
</table>

１．事業内容

ラムサール条約登録湿地である中海・宍道湖をはじめとする圏域の豊かな自然環境について、圏域の子どもたち等へ体験を通じた学習の機会を提供するほか、情報発信事業を実施し、圏域の自然環境に関する普及啓発と保全を推進するとともに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組を促進した。

また、令和 7 年度はラムサール条約登録 20 周年を迎えたことから、両県と共に一層の PR に努めた。

⑴ 子ども探検スクールの開催

圏域の豊かな自然や環境施設等を活用し、自然環境や SDGs について、子どもたちが現地で学習できる機会等を提供した。

①脱炭素をテーマとした施設見学、体験学習

②中海・宍道湖の水鳥観察、水環境学習

③海岸漂着ごみから学ぶ

④会場市以外の圏域の取組紹介

＜夏企画＞

○安来会場 8/2(土)　伯太発電所・伯太中央交流センター

参加 29 名/14 組（申込 56 名/25 組）

○松江会場 8/9(土)　宍道湖観光遊覧船「はくちょう号」

参加 30 名/13 組（申込 204 名/90 組）

○出雲会場 8/10(日) トキ学習コーナー、トキ公開施設

参加 22 名/10 組（申込 65 名/29 組）

○境港会場 8/23(土) 三光株式会社（潮見コンビナート）

参加 27 名/12 組（申込 35 名/27 組）

○大山会場 8/30(土) サントリー天然水奥大山ブナの森工場

参加 35 名/14 組(申込 93 人/40 組)



安来会場



松江会場



出雲会場



境港会場



大山会場

＜冬企画＞

○宍道湖会場 1/17(土) 宍道湖グリーンパーク・斐伊川河口
参加 16 人/8 組(申込 20 人/9 組)

○~~松江会場 1/24 (土) 松江堀川遊覧船~~　悪天候のため中止
(申込 71 人/31 組)

○米子会場 1/31(土) 米子市クリーンセンター・内浜処理場
参加 15 人/7 組(申込 20 人/9 組)



宍道湖会場



米子会場

⑵　自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信

各関係団体の取組との連携、研修会の開催、ノベルティグッズの活用等により、圏域の自然環境の豊かさや保全等に係る普及啓発を図った。

①ブルーカーボン研修会の開催

中海・宍道湖の水環境保全やブルーカーボン（海洋生態系に取り込まれた炭素）に関する日本の現状、世界の動向、各市町村で取り組むこと等について学ぶ研修会を開催した。

・日時　　令和 7 年 12 月 25 日（木）　14：00～15：30
・場所　　玉湯公民館 2F　※別途、ZOOM によるオンライン受講実施
・講師　　認定 NPO 法人自然再生センター　理事長　松本 一郎氏（島根大学教授）

・対象者　圏域 5 市 7 町村の企画・環境・水産部門担当者
・参加者　28 名（うち 2 名オンライン受講）





②ノベルティグッズの作成



中海・宍道湖のラムサール条約登録 20 周年を記念したフェイスタオル（追加作成）

③ラムサール条約 20 周年記念事業の実施

ラムサール条約登録から 20 周年を記念し、圏域の次代を担う子どもたちへ、豊かな水環境の保全・再生や賢明な利用について広く普及啓発を行うことを目的として、ラムサール条約にゆかりのある水辺を周遊するデジタルフォトスタンプラリーを実施した。

【実施時期】令和 7 年 11 月 16 日（日）～令和 8 年 2 月 28 日（土）
【スポット】5 か所　①道の駅 秋鹿なぎさ公園
②宍道湖グリーンパーク
③海とくらしの史料館
④出雲織・のき白鳥の里（白鳥ロード）
⑤米子水鳥公園
【参加対象】中海・宍道湖・大山圏域（＊）に在住の小学生以下
＊松江市、出雲市、境港市、安来市、米子市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町
【参加方法】対象スポットで写真を撮影し、撮影した写真を投稿することで、スタンプを獲得。特典に応じたスタンプを集めると応募が可能。
【特　　典】A 賞（スタンプ 5 個）：双眼鏡（20,000 円相当）　3 名
B 賞（スタンプ 4 個）：5 市の特産品詰合せ（5,000 円相当）10 名
C 賞（スタンプ 3 個）：宍道湖遊覧船チケット（3,000 円相当）10 名
【実施結果】参加登録者数 86 人／スタンプ獲得人数 58 人／スタンプ獲得総数 210 個／特典応募人数 40 人／特典応募総数 99 人／アンケート回答数 86 人





←参加募集チラシ



④第 10 回中海バイク＆ラン+（プラス）

主催：島根県、鳥取県　共催：中海・宍道湖・大山圏域市長会

期日：令和 7 年 11 月 1 日（土）～11 月 24 日（月・祝）（24 日間）

場所：中海周辺

参加：163 名（参加無料）

内容：スマートフォンの GPS 機能を利用したスタンプラリー

２．経費内訳

○子ども探検スクールの開催　565,105 円

○自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信　869,330 円

（4）ともに歩む圏域づくり（連携と協働）

02 事業費

<table>
<tr><td>事業項目</td><td colspan="4">①圏域情報の共有・発信</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">圏域内外へのエリアプロモーション</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">予　算　現　額</td><td>210,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="5">圏域振興ビジョンに示す圏域の将来像、ビジョンや市長会の活動の広報周知に努めるとともに、圏域内での一体感醸成、圏域外における認知度向上のための情報発信を行う。</td><td colspan="3">決　　算　　額</td><td>209,330　円</td></tr>
<tr><td rowspan="3">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td></td><td>0　円</td></tr>
<tr><td>補　助　金</td><td></td><td>0　円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">負　担　金</td><td>一般</td><td>209,330　円</td></tr>
<tr><td>特定</td><td>0　円</td></tr>
<tr><td colspan="3">前 年 度 決 算 額</td><td>206,910　円</td></tr>
</table>

１．事業内容

市長会ホームページや年４回掲載する市長会通信により、市長会の活動について、広報周知を行った。

(1)　ホームページ等を活用した圏域内外への広報周知

○ホームページ管理業務委託

(2)　市広報紙への市長会通信の掲載

○市長会の活動について年４回、各市の広報紙を活用し情報発信を実施



各市の広報紙に掲載

２．経費内訳

・ホームページ管理業務委託料　　209,330 円

・合計　　209,330 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	圏域内の連携・交流推進			
事業概要		予算現額		8,670,000 円
圏域内の行政間や民間団体間、行政と民間団体等の更なる連携と交流を図る。		決算額		7,397,710 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	4,947,710 円
			特定	2,450,000 円
		前年度決算額		6,227,770 円

１．事業内容

圏域で一体となって推進すべき事業の精査、検討を行い、各市・各団体間での連携・交流推進を図るとともに、特定の課題に対して各市間及び各団体との意見交換の場を設ける等、連携を促進するための仕掛けづくりを行った。

⑴　中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○中海・宍道湖・大山圏域市長会総会にあわせ、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との合同勉強会の開催

8 月 5 日（火）

・講師：出雲の国「社寺縁座の会」座長・一畑薬師管長　飯塚 大幸 氏

・演題：「ご縁の道・心の旅」～中海・宍道湖・大山圏域の魅力～

2 月 10 日（火）

・日本航空株式会社　常務執行役員　西日本支社長　　宮坂　久美子　氏

・全日本空輸株式会社　上席執行役員　営業センター長　　原　雄三　氏

・株式会社フジドリームエアラインズ　取締役営業本部　営業本部長　　山田　潤　氏

・株式会社ジェイキャスエアウェイズ　代表取締役　　梅本　祐紀　氏

・演題「インバウンドで華やぐ圏域　航空ネットワークと地域観光の未来」

～山陰のポテンシャルをどう最大化するのか～





⑵　圏域内インフラ（中海架橋、米子道４車線化、境港出雲道路、境港米子道路、境港整備、新幹線整備など）の整備促進に関する要望活動等、圏域一体で取り組む事業の推進・強化

○中海・宍道湖８の字ルート整備推進会議 令和７年度総会開催（5/14）
○中海・宍道湖８の字ルート係る国土交通省に対する要望活動（7/17、10/22）
○中海・宍道湖８の字ルート整備促進総決起大会（10/22）
○中海・宍道湖８の字ルートシンポジウム（1/31）







○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議 令和７年度総会開催（5/14）
○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動（7/17、11/12）
○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議研修会開催（10/21）
○中国横断新幹線（伯備新幹線）ロゴマーク決定（3/30）

GO TO SUN.IN
中国横断新幹線（伯備新幹線）

○境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国会議員に対する要望活動
　国土交通省港湾局長及び地元選出国会議員への要望活動（8/28、11/7、2/18）
○境港外港昭和南地区国際物流ターミナル着工式典（3/8）

○中国横断自動車道岡山米子線(蒜山 IC～境港間)整備促進総決起大会
　中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 IC～境港間）整備促進総決起大会を共催（11/7）

２．経費内訳

・意見交換会、合同勉強会の開催経費	79,210 円
・中海・宍道湖８の字ルート整備推進会議助成金	4,830,000 円
・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議負担金	2,450,000 円
・情報発信等経費	38,500 円
・合計	7,397,710 円

事業項目	① 圏域内の連携・交流推進			
事業名	人材育成の共同化			
事業概要		予算現額		1,700,000 円
圏域内における人的交流の推進による一体感の醸成を図り、圏域を担う人材育成に向けた取組を行う。		決算額		1,274,513 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	1,274,513 円
			特定	0 円
		前年度決算額		1,359,653 円

1．事業内容

中海・宍道湖・大山圏域の未来を切り開く推進力となる人材育成を目的に、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会と共同で研修会を開催。多彩な分野の講師による経験・理論を学び視野を拡げるとともに、企画力・想像力を磨く機会を提供した。また、圏域の若者の人材育成として、高校生を対象とした発明楽コンテストへの支援を行った。

(1) 官民が連携した人材育成研修の実施

○「山陰まんなか未来創造塾」の開催

圏域の企業・団体・自治体に勤務する概ね 30～40 歳代の社員や職員等を対象に開催した。

・日　時：3 月 10 日（月）15:00～17:30
・会　場：松江商工会議所
・講　義：ゼロからの挑戦～楽天イーグルス創設に学ぶ突破力。仕事の壁にぶつかったとき、私が必ずやってきたこと～
・講　師：池田敦司 氏（一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)専務理事/仙台大学教授）
・約 30 名の参加（事務局含む）









⑵　圏域未来人材の育成

○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。

・名　　称　第 7 回発明楽コンテスト
　　（高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト）
・開催日程　3 月 25 日（水）14:00～17:00
・開催場所　鳥取大学医学部記念講堂
・主　　催　発明楽コンテスト実行委員会（鳥取大学医学部附属病院、BSS 山陰放送）
・応募期間　11 月 15 日（土）～1 月 23 日（金）
・応募資格　高等学校に在籍する生徒 1～5 名（複数案応募可）
・募集内容　「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福（Well-Being）になれるアイデア」
・広報活動　Web　掲載期間　　1 月 13 日（水）～3 月 25 日（水）
　　その他　山陰の全高校への書面による募集活動
・応募総数（チーム総数）
　鳥取県 8 校（27 チーム）、島根県 3 校（4 チーム）
　計 11 校（31 チーム）　総勢 103 名の高校生参加
　このうち最終審査に圏域から、3 校（米子東高校・米子西高校・米子北高校）が出場



2．経費内訳

・山陰まんなか未来創造塾実行委員会への負担金	774,513 円
・発明楽普及支援事業	500,000 円
・合計	1,274,513 円

事業項目	② 圏域内の連携と協働			
事業名	文化・スポーツ交流促進事業			
事業概要	圏域内の歴史資源、伝統芸能、スポーツ、芸術など、相互交流を推進することにより、魅力ある圏域を知り、心豊かな生活環境を創出する。	予算現額		1,600,000 円
		決算額		1,145,630 円
		財源内訳 国・県支出金		0 円
		財源内訳 補助金		0 円
		財源内訳 負担金	一般	1,145,630 円
		財源内訳 負担金	特定	0 円
		前年度決算額		783,385 円

１．事業内容

学校区や自治体の枠を越えた若い世代からの交流促進及び圏域のプロスポーツチームとの交流、各市で開催されるイベントでの伝統芸能の披露により、地域への愛着や一体感の醸成を図ることを目的に、圏域内の文化・スポーツ交流促進事業の実施及び支援等を行った。

⑴ スポーツを通じた圏域交流イベントの開催

○圏域の小学生とその保護者を対象とした、圏域のプロスポーツチームとのスポーツ交流イベント「第７回キッズふれあいスポーツフェスティバル」の開催

・日　時　　２月 21 日（土）14:00～16:00
・会　場　　出雲だんだんとまとアリーナ
・参加チーム　ガイナーレ鳥取・島根スサノオマジック・ディオッサ出雲
・イベント内容　ガイナーレ鳥取：復活！公園遊び、島根スサノオマジック：バスケットボール、ディオッサ出雲 FC：フットサル
・参加者　　圏域の小学生 1～2 年生及びその保護者 80 名（40 組）
※定員 50 組に対し 113 組が応募





⑵　イベント交流事業への補助

○各市で開催されるイベントにおける伝統芸能の披露など交流事業へ補助金を交付

イベント名称	イベント会場	招致団体（団体住所）	開催日
第 27 回やすぎ刃物まつり	安来市	まつえ若武者隊 3 名（松江市）	10/4～5
松江水燈路	松江市	尼子太鼓振興会（安来市）	10/19
第 42 回よどえ夢まつり	米子市	まつえ若武者隊（松江市）	10/19






２．経費内訳

・スポーツを通じた圏域交流イベントの開催　934,620 円

・イベント交流事業の開催補助　211,010 円

・合計　1,145,630 円

<table>
<tr><td>事 業 項 目</td><td colspan="4">②圏域内の連携と協働</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">中海・宍道湖レガッタ開催支援事業</td></tr>
<tr><td>事 業 概 要</td><td colspan="3">予　算　現　額</td><td>200,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="6">中海・宍道湖の自然環境の保全と賢明利用を推進するため、中海・宍道湖レガッタの開催を支援する。</td><td colspan="3">決　　算　　額</td><td>200,000　円</td></tr>
<tr><td rowspan="4">財源内訳</td><td>国・県支出金</td><td></td><td>0　円</td></tr>
<tr><td>補　助　金</td><td></td><td>0　円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">負　担　金</td><td>一般</td><td>200,000　円</td></tr>
<tr><td>特定</td><td>0　円</td></tr>
<tr><td colspan="3">前 年 度 決 算 額</td><td>153,915　円</td></tr>
</table>

１．事業内容

中海・宍道湖を活用したレガッタ大会開催に係る支援

大会の円滑な実施を支援するとともに、自然環境の保全・活用、エコツーリズムといった観光振興及び圏域内外の交流人口の拡大を図るため、中海・宍道湖レガッタ実行委員会に補助金を交付した。

・開催日：9 月 20 日（土）、21 日（日）
・場所：美保関町万原コース
・参加：59 クルー（名）



２．経費内訳

中海・宍道湖レガッタ開催支援補助金　　200,000 円

事業項目	②圏域内の連携・交流推進			
事業名	移住・定住等促進事業			
事業概要		予算現額		3,130,000 円
圏域人口 60 万人の維持に向けた移住・定住等の促進を図る。		決算額		2,708,433 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	1,480,678 円
			特定	1,227,755 円
		前年度決算額		2,148,251 円

1．事業内容

圏域における移住・定住の促進に向け、圏域内に居住、通勤通学または定住を考える独身男女を対象に、結婚相手に出会う機会を創出し、未婚化、晩婚化の改善を図るほか、東京大学や島根大学との連携により関係人口の拡大を図る取り組みを行った。

(1) 婚活事業による移住・定住の促進に向けた取組

○結婚を望む独身男女に出会いの場を創出するための婚活イベントを開催

プロバスケットボールチーム島根スサノオマジックの試合観戦と組み合わせたイベントを実施することで気軽に参加でき、共通の話題、一緒に盛り上がる体験をすることにより、恋愛へとつながることを支援した。

【イベント概要】

・GO! MAGIC! スサマジ観戦×交流 DAY1

日時：1 月 24 日（土）12:00～18:00

内容：アイスブレイク、スサマジ試合観戦

参加者：男性 12 名　女性 10 名

カップリング数：7 組





・GO! MAGIC! スサマジ観戦×交流 DAY2

日時：2 月 14 日（土）10:00～16:30

内容：アイスブレイク、スサマジ試合観戦

参加者：男性 9 名　女性 8 名

カップリング数：6 組





⑵　首都圏大学との圏域キャンパス事業

○東京大学が実施する体験活動プログラムに参加し、学生を対象にフィールドワークを実施

・体験活動プログラム　3 名参加

・活動テーマ：ラムサール条約登録湿地「宍道湖」・「中海」で水環境と生態系保全を考える

・来圏期間：8 月 19 日（火）～23 日（土）

・活動内容

宍道湖漁協及び中海漁協等の協力により、宍道湖や中海から得られる恵みについて体験（漁、資源保護活動、食等）した。さらに、地域住民の湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行うとともに、宍道湖、中海についての学習を行った。









⑶　島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

○各市から課題を提供し、課題解決のためのフィールドワークを実施

・イノベーション創成セミナーⅠ　76 名参加

各市担当者からの授業とフィールドワークを通して、5 市のカーボンニュートラル等の環境保全に係る取組を学び、学生目線での地域人材育成コースパンフレットを作成した。

（ア）授業への参加（5 月 9 日,5 月 16 日,6 月 6 日,6 月 14 日,6 月 27 日）

（イ）フィールドワーク（6 月 14 日）

・松江市（16 名）

松江バイオマス発電（株）、松江城、堀川遊覧船、八重垣神社

・出雲市（15 名）

しまね花の郷、出雲エネルギーセンター、トキ分散飼育センター、キララ多伎

・安来市（15 名）

伯太小水力発電所、わかさ会館、安来節演芸館、足立美術館

・米子市（15 名）

米子市クリーンセンター、本池美術館、米子水鳥公園

・境港市（15 名）

三光（株）潮見工場、弓ヶ浜海岸、境港市清掃センター、水木しげるロード



⑷　地域にはばたけ！学生応援補助金

・圏域の学生が主体となった地域活動の支援　　3 件
内容：①夏の昆虫標本作り教室
②学生が伝える島根の和～出雲ぜんざい抹茶ラテプロジェクト～
③松江市産ヨモギ乾燥品の未知の健康機能性を解明し、地域の魅力向上につなげる研究と普及活動

２．経費内訳

・婚活に係る経費	1, 227, 755 円
・東京大学との圏域キャンパス事業に係る経費	246, 820 円
・島根大学 若者を共に育てるプロジェクト等に係る経費	1, 087, 778 円
・地域にはばたけ！学生応援補助金	146, 080 円
・合計	2, 708, 433 円

事業項目	③安心して暮らすことのできる環境づくり事業			
事業名	防災対策の充実			
事業概要		予算現額		500,000 円
安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取組を行う。		決算額		496,375 円
	財源内訳	国・県支出金		0 円
		補助金		0 円
		負担金	一般	496,375 円
			特定	0 円
		前年度決算額		475,750 円

1．事業内容

中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会の開催及び防災資機材等の購入
（連絡協議会幹事市：出雲市）

(1) 構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催
○連絡協議会の開催〔11 月 20 日（木）会場：出雲市役所平田行政センター〕
○通信訓練の実施〔3 月 18 日（水）会場：各自治体執務室〕

(2) 各市間で融通し使用する防災資機材の購入
○ノベルティ用携帯トイレ
松江市・出雲市・米子市（各 450 個）、境港市・安来市（各 200 個）
○USB 充電ステーション
各市 1 個





〔参考〕
中海・宍道湖・大山圏域防災連絡協議会
中海・宍道湖・大山圏域災害時相互応援協定（H25 年締結）に基づき設置された協議会
（構成市町村：5 市及び鳥取県西部町村会）

2．経費内訳

防災資機材購入経費　　496,375 円

２　特別会計

１　環日本海貨客船航路就航支援補助金

事業項目	01 環日本海貨客船航路就航支援補助金			
事　業　名	定期貨客船航路就航支援補助金			
事業概要		予　算　現　額		19,200,000 円
東アジアに向けたゲートウェイ機能の継続のため、鳥取県と共同で、環日本海貨客船航路の運航を支援する。		決　　算　　額		17,100,000 円
	財源内訳	国・県支出金		―
		補　助　金		―
		負　担　金	一般	―
			特定	17,100,000 円

１．事業内容

定期貨客船航路就航支援補助金

圏域の基幹的な物流、観光インフラであることから、運航会社の初めての日本への定期貨客船就航を支えながら、航路の定着・継続を確保し、定期的な就航を促すため、境港-東海間の運航に必要な経費の一部を支援した。

２．経　過

環日本海定期貨客船航路は、DBS クルーズフェリーにより平成 21 年から境港と東海間で運航されていたが、令和元年 11 月に運休、令和 2 年 4 月には韓国海洋水産部へ運航免許返納され、令和 2 年度以降は航路が無かった。

令和 6 年 8 月から、トゥウォン商船㈱（本社：東海市）が、境港と東海間の定期貨客船運航を開始。

３．事業内容

補助金相手方：環日本海経済活動促進協議会

・１航次につき、運航経費のうち固定経費の１/10（上限 1,000 千円）

・負担割合：鳥取県 7/10、市長会 3/10

４．実　績

1,000 千円×45 航次×3/10　＝　13,500,000 円

【内訳】松江市・出雲市・米子市　各 2,000,000 円

安来市　1,000,000 円

境港市　6,500,000 円

（単位：千円）

区分	松江市	出雲市	米子市	安来市	境港市	計
①　基本負担額	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000	8,000
②　負担額	―	―	―	―	5,500	5,500
計	2,000	2,000	2,000	1,000	6,500	13,500

５．その他

境港市への返還金（令和 6 年度からの繰越）　3,600,000 円

※令和 6 年度事業における悪天候による欠航分について、令和 7 年度へ繰り越した後、境港市へ返還した。

【参考-別紙①】観光局

一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局　令和7年度決算額一覧表

【歳入】

（単位：円）

項	目	当初予算額	補正予算	現計予算額	決算額	比較	備考
負担金	負担金	45,879,000	0	45,879,000	45,879,000	0	
		45,879,000	0	45,879,000	45,879,000	0	
会　費	会　費	6,850,000	0	6,850,000	6,850,000	0	
	正会員	6,570,000	0	6,570,000	6,570,000	0	正会員30
	賛助会員	280,000	0	280,000	280,000	0	賛助会費6
事業収益	収　益	0	0	0	1,648,000	1,648,000	カプセルトイ売上
繰越金	繰越金	7,000,000	8,681,455	15,681,455	15,681,455	0	前年度繰越金
諸収入	諸収入	1,000	0	1,000	50,754	49,754	預金利息
合　　計		59,730,000	8,681,455	68,411,455	70,109,209		

【歳出】

（単位：円）

項	目	予算額	補正予算	現計予算額	決算額	比較	備　　考
ブランディング		3,200,000	0	3,200,000	3,765,590	△ 565,590	
	ブランディング	3,200,000	0	3,200,000	3,765,590	△ 565,590	「えんむす」タイアップ事業 3,766千円
マーケティングリサーチ		1,085,000	1,000,000	2,085,000	1,309,080	775,920	
	データ分析・活用	1,085,000	1,000,000	2,085,000	1,309,080	775,920	オープンデータ活用手数料 229千円 観光DX検定（職員2名） 80千円 インバウンド観光客動態調査 1001千円
プロモーション		29,276,000	10,366,000	39,642,000	27,374,830	12,267,170	
	インバウンドプロモーション	16,730,000	4,716,000	21,446,000	15,195,780	6,250,220	欧米豪市場 9026千円 韓国市場 1,013千円 台湾市場 2,505千円 山陰インド協会ほか 1,241千円 上海商談会委託（中止） 1,413千円
	国内プロモーション	12,546,000	5,650,000	18,196,000	12,179,050	6,016,950	動画制作 6,000千円 HP管理運営 2,500千円 新HP構築 1,188千円 FDA連携プロモーション 1,154千円 焼津魚（とと）フェス出展 78千円
受入環境整備		8,902,000	0	8,902,000	8,105,115	796,885	
	外国人受入環境整備	7,649,000	0	7,649,000	6,620,163	1,028,837	インバウンド対策セミター 435千円 韓、繁パンフ（データ版） 1,759千円 クルーズ船おもてなし 3,785千円
	国内受入環境整備	1,253,000	0	1,253,000	1,484,952	△ 231,952	
2025大阪・関西万博誘客事業		3,500,000	△ 3,500,000	0	0	0	
	2025大阪・関西万博誘客事業	3,500,000	△ 3,500,000	0	0	0	
小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業		3,000,000	0	3,000,000	2,962,620	37,380	
	小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業	3,000,000	0	3,000,000	2,962,620	37,380	八雲伝説スタンプラリー 2,963千円
加入団体会費等		2,481,000	0	2,481,000	1,810,210	670,790	
	加入団体会費等	2,481,000	0	2,481,000	1,810,210	670,790	
事務局費	事務局運営費	8,036,000	0	8,036,000	8,438,077	△ 402,077	
予備費	予　備　費	2,000,000	815,000	2,815,000	0	2,815,000	
合　　計		61,480,000	8,681,000	70,161,000	53,765,522	16,395,478	

R7歳入合計　70,109,209

R7歳出合計　53,765,522

令和8年度繰越　16,343,687

【参考-別紙②】観光局

山陰まんなか観光局
一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局

令和７年度　事業報告

一般社団法人　中海・宍道湖・大山圏域観光局

観光振興の取り組みについて

(1)　観光振興の取り組み方針

当圏域では、中海・宍道湖・大山圏域市長会が策定した「中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン」を活動の指針として掲げています。このビジョンにおいて、圏域の未来を切り拓く4つの基本方向の一つとして「訪ねたい圏域づくり（観光振興）」が定められており、私たちはこの方針に基づき、圏域一体となった観光振興を強力に推進している

基本方向２　訪ねてみたい圏域づくり【観光振興】

交通インフラの整備やSNSの普及等により、観光客が行政区域の枠を超え、より多くの観光地を周遊するなど観光の楽しみ方も広域化、多様化しています。

基本目標

１　観光地域づくりの推進
２　圏域観光の魅力向上
３　インバウンド観光の促進

観光振興の取り組みについて

⑵　KGI

		令和元年	令和5年	令和7年	令和8年	令和11年
旅行消費額（百万円）	目標	106,600	114,300	193,000	199,000	203,000
	実績		193,407			

※旅行消費額は、日本交通公社「旅行年報」による鳥取県及び島根県の旅行消費額から推計

⑶　主要KPI

		令和元年	令和5年	令和7年	令和8年	令和11年
観光客宿泊者数（千人）	目標	4,130	4,297	4,305	4,429	4,800
	実績	4,075	4,043	3,825		
外国人宿泊者数（千人）	目標	199	407	101	148	288
	実績	154	72	128		
観光入込数（千人）	目標			35,600	36,200	36,800
	実績	28,574	25,255			

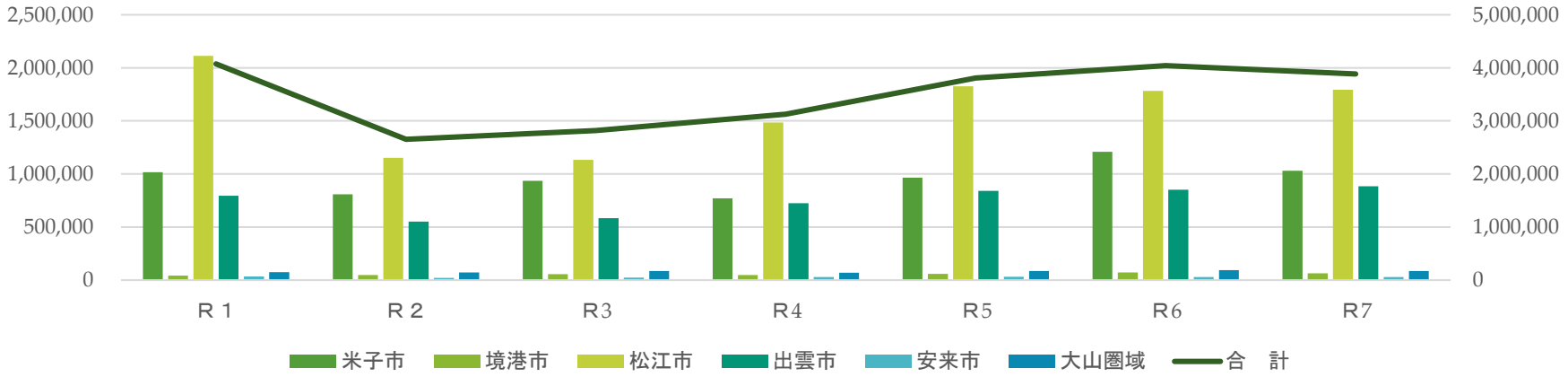
※宿泊者数、入込数は、「島根県観光動態調査」、「鳥取県観光入込動態調査」から引用しているが、「鳥取県観光入込動態調査」は例年8月に公表されるため、入込数は未確定
※鳥取県の宿泊者数は「観光庁宿泊旅行統計調査」が出典もとのため、その結果を引用した。
※島根県の外国人宿泊者数は速報値では未公表のため、「観光予報プラットフォーム」から引用した。

令和7年の圏域内観光動向について

(1)　宿泊者数の推移

令和7年の圏域5市の宿泊者数は、昨年比94.6%、一昨年比100.4%と、昨年よりは減少しているもののコロナ禍以降伸び悩んでいた宿泊客が回復傾向にある。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
米子市	1,016,080	808,393	936,029	770,387	964,846	1,208,726	1,029,550
境港市	42,234	48,084	56,346	47,365	57,793	73,654	64,038
松江市	2,112,710	1,153,270	1,132,399	1,484,032	1,827,071	1,782,880	1,794,667
出雲市	794,951	550,877	584,920	723,279	840,305	852,064	884,916
安来市	33,503	21,568	22,758	29,605	32,118	29,961	28,295
大山圏域	74,956	71,261	86,510	70,815	86,682	94,872	84,747
合　計	4,074,434	2,653,453	2,818,962	3,125,483	3,808,815	4,042,157	3,886,213

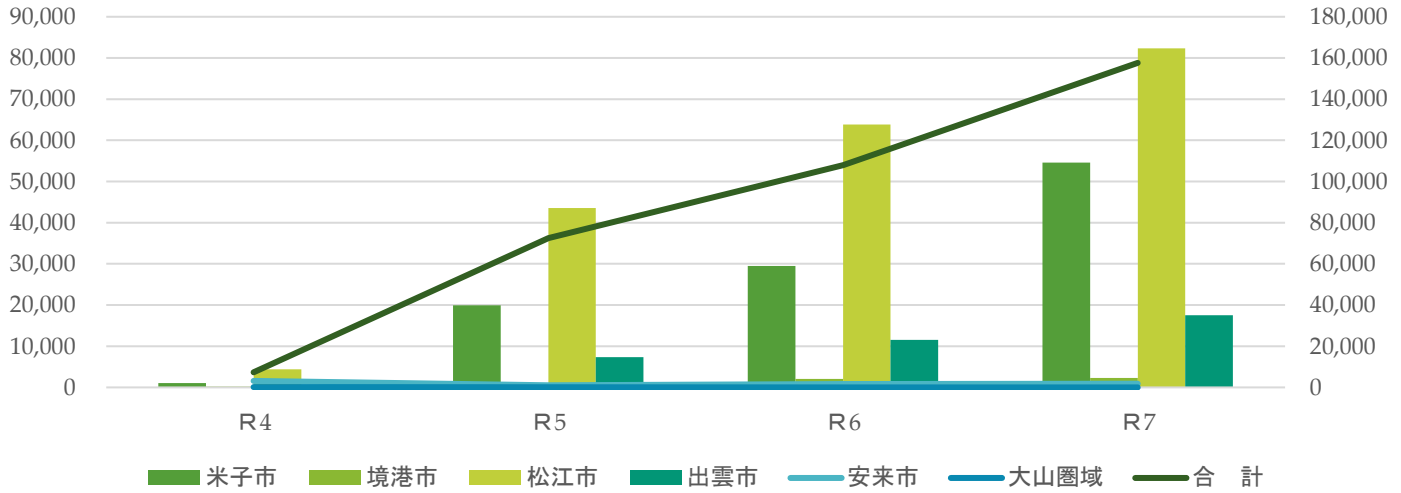


令和7年の圏域内観光動向について

⑵　外国人宿泊者数の推移

宿泊者のうち、外国人宿泊者数は昨年比146.1%、一昨年比227.9%と大きく伸びている。

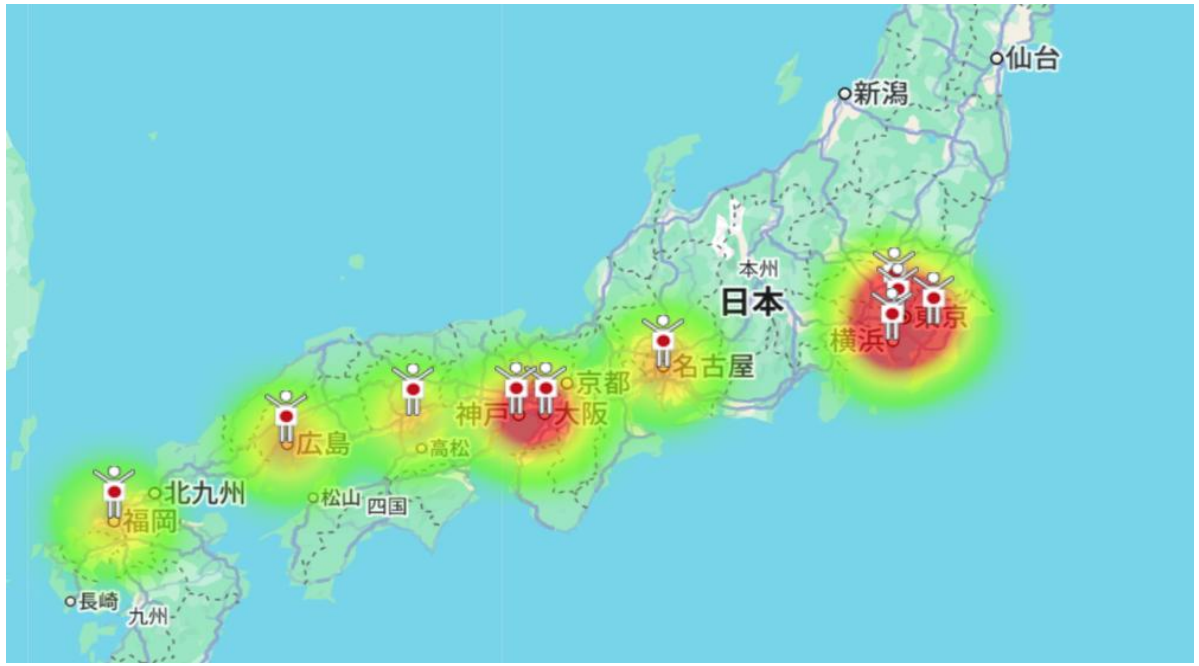
	R4	R5	R6	R7
米子市	1,049	19,965	29,513	54,628
境港市	227	1,027	2,100	2,280
松江市	4,360	43,586	63,865	82,331
出雲市	44	7,348	11,547	17,496
安来市	1,581	518	848	874
大山圏域	80	24	0	0
合　計	7,341	72,468	107,873	157,609



宿泊者の居住地（「観光予報プラットフォーム」より）

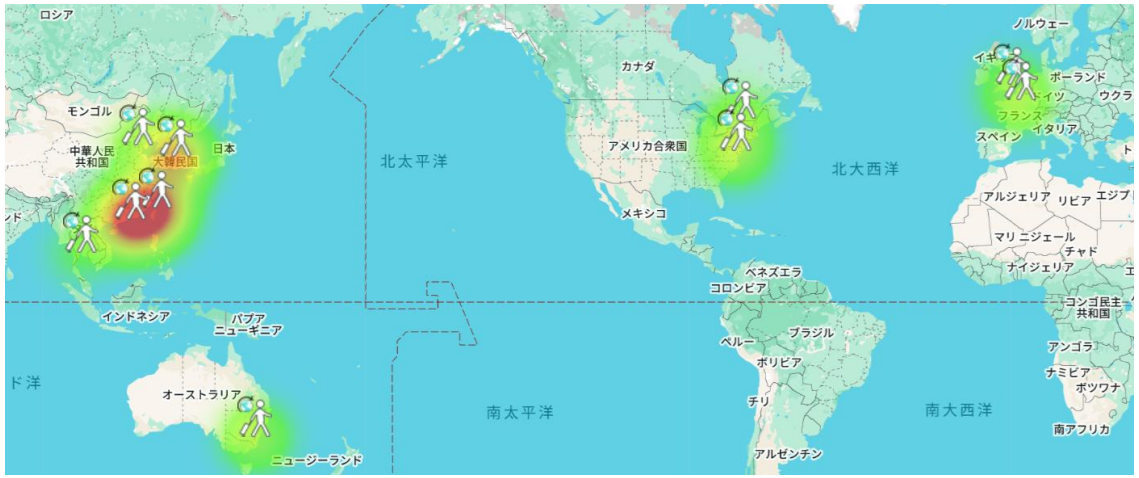
① 国内からの宿泊者居住者

特に、関東、関西からが多く、次いで山陽、愛知、福岡から



② 外国からの宿泊者居住地

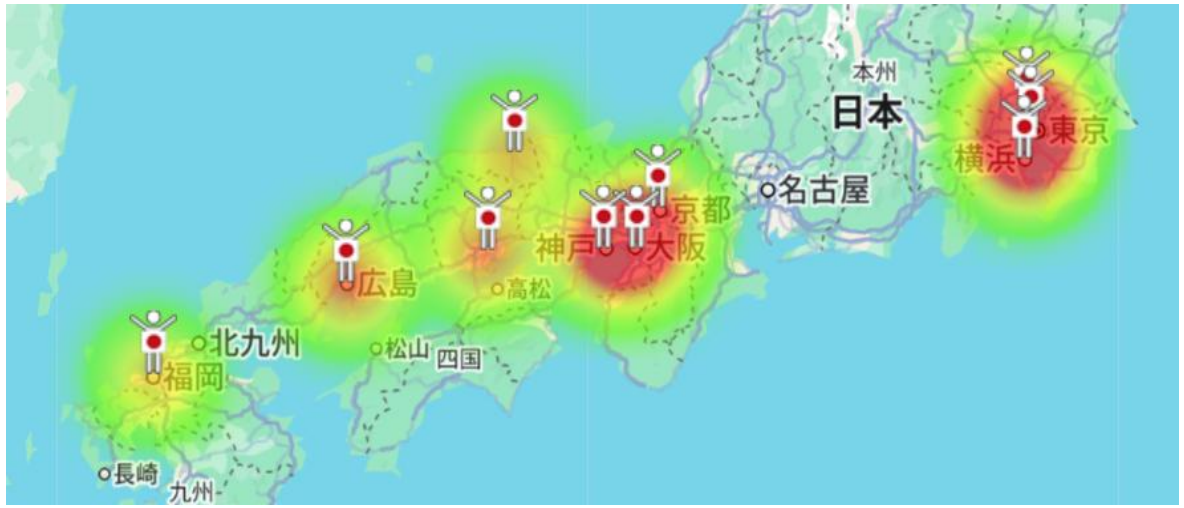
特に東アジア（台湾、香港、韓国、中国、タイ）が多く、次いで欧米豪（アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、オーストラリア）から



米子市の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

① 国内からの宿泊者居住地

特に**関東、関西**からが多く、次いで近隣の山陽、鳥取県内、福岡から多い。



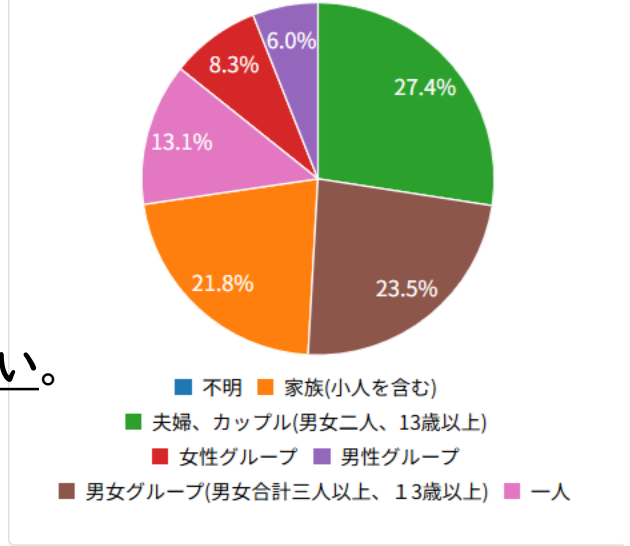
② 外国からの宿泊者居住地

特に東アジア（**台湾、香港、韓国**、中国、タイ）が多く、次いで欧米（アメリカ、フランス、イギリス）から



③ 旅行の参加形態

他市町に比べて**子供連れ家族の割合が若干多い**。



境港市の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

① 国内からの宿泊者居住地

特に**関東**からが多く、次いで関西、山陽、愛知から。**福岡は少ない**。



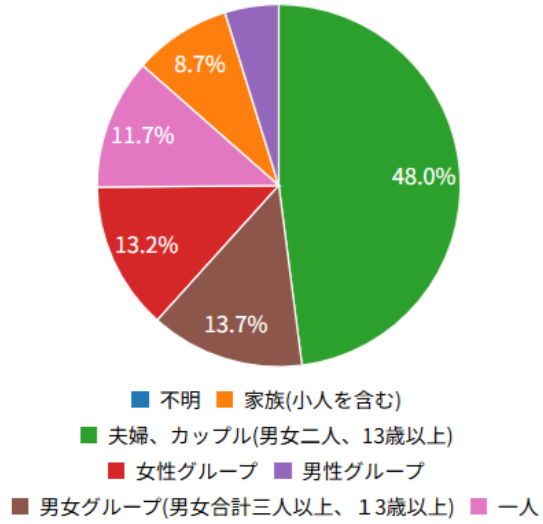
② 外国からの宿泊者居住地

特に東アジア（**台湾、香港**、韓国、中国、タイ）が多く、次いで欧米（アメリカ、ドイツ、イギリス）から



③ 旅行の参加形態

約半数が夫婦

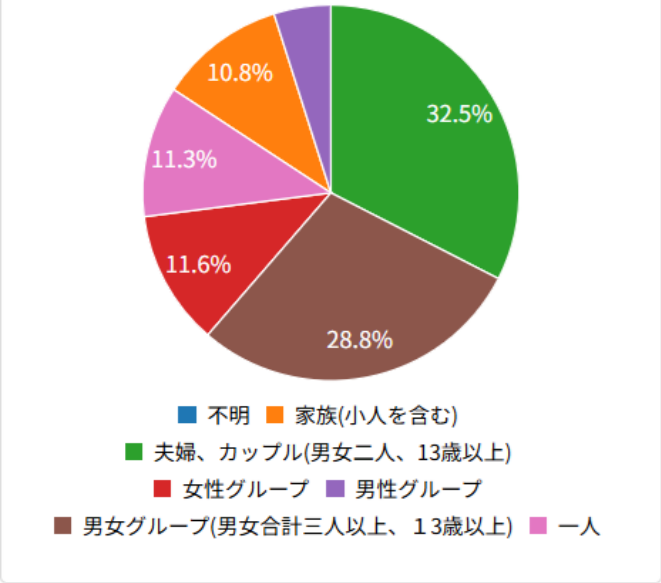


松江市の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

① 国内からの宿泊者居住地

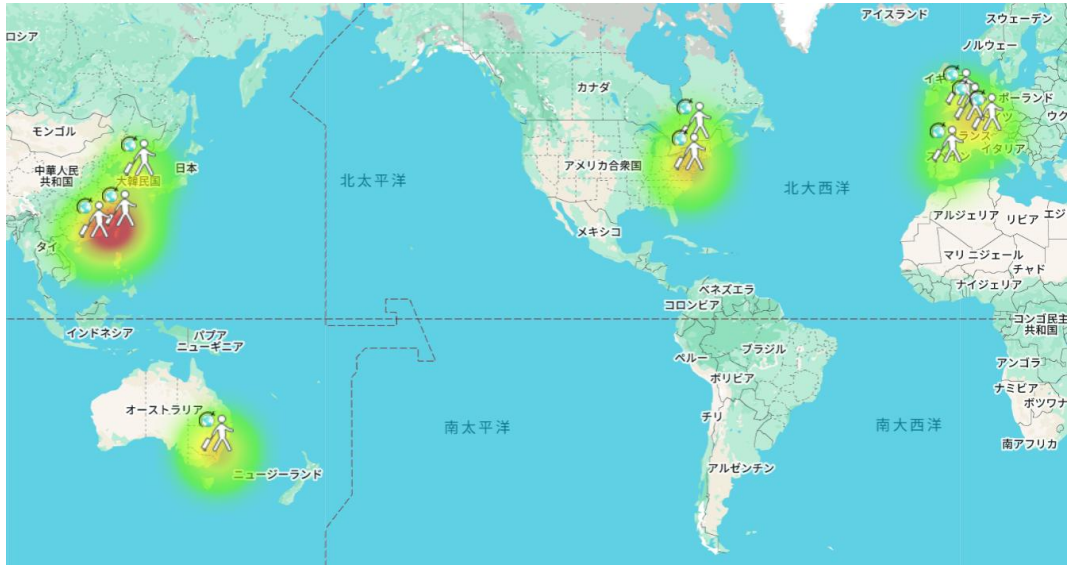
特に関東、関西からが多く、次いで関西、山陽、愛知、静岡から。**福岡は少ない**。





② 外国からの宿泊者居住地

特に東アジア（**台湾、香港**、韓国）が多く、次いで欧米豪（**アメリカ、フランス、オーストラリア**、カナダ、イギリス、スペイン、スイス）から



③ 旅行の参加形態

夫婦が3割程度、男女グループ、女性グループ、一人、子供連れ家族など**バラエティ豊か**

出雲市の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

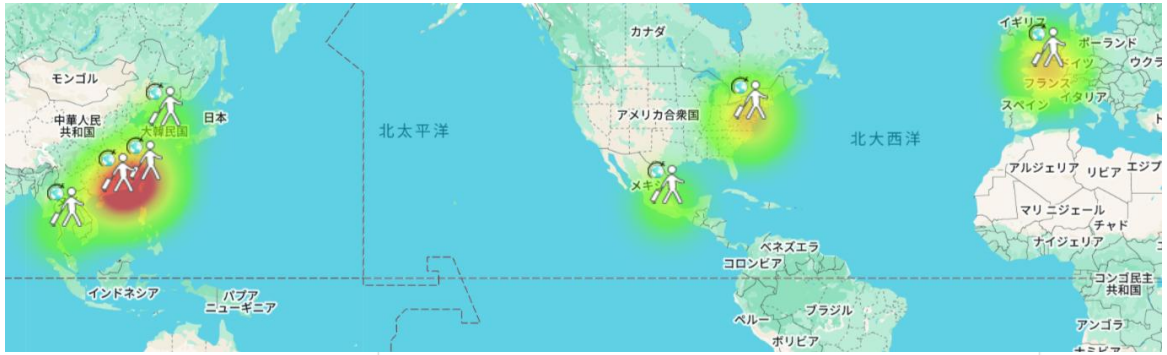
① 国内からの宿泊者居住地

特に**関東、関西**からが多く、次いで広島、愛知、静岡、福岡から。**岡山からは少ない**。



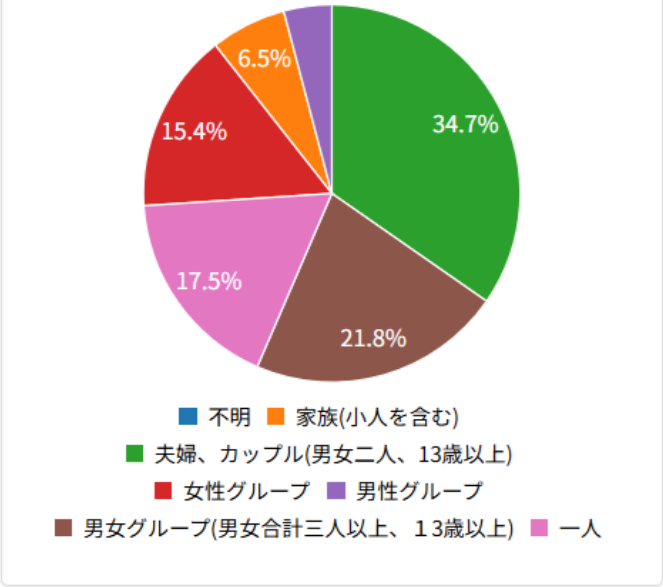
② 外国からの宿泊者居住地

特に東アジア（**台湾、香港**、韓国、タイ）が多く、次いで欧米（**アメリカ、フランス**、メキシコ）から



③ 旅行の参加形態

他市に比べて**一人が若干多い**。



安来市の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

① 国内からの宿泊者居住地

特に**関東、関西**からが多く、次いで広島、愛知、静岡、福岡から。**岡山からは少ない**。



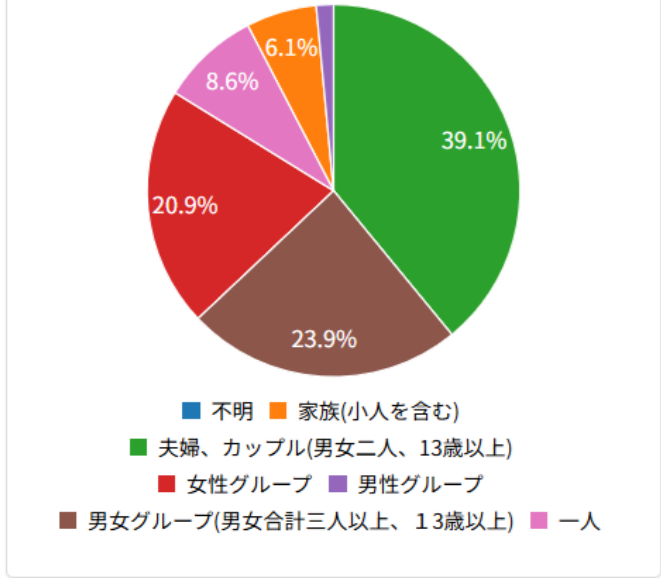
② 外国からの宿泊者居住地

特に東アジア（**韓国、中国、台湾、香港**、タイ）が多く、次いで欧米（**アメリカ、フランス**、イギリス）から



③ 旅行の参加形態

夫婦が4割程度、男女グループも多いが、他市に比べて**女性グループが多い**傾向。



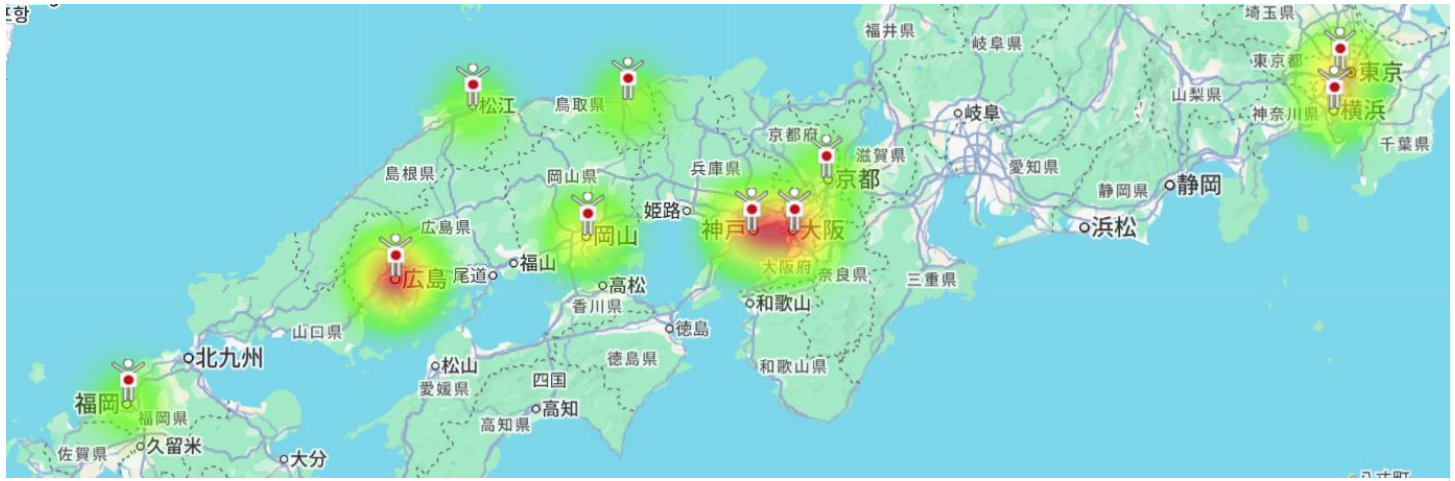
大山圏域の宿泊者の傾向（「観光予報プラットフォーム」より）

① 国内からの宿泊者居住地

特に、関西、広島からが多く、次いで岡山、福岡から。地元の**山陰両県から**も。

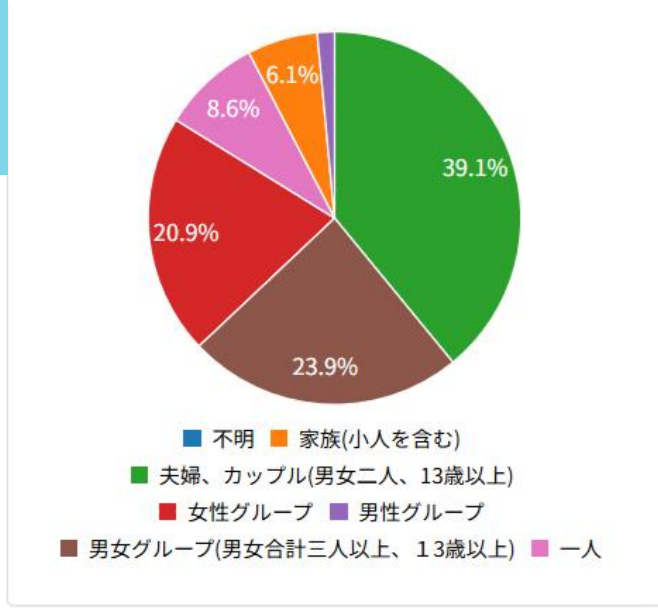
② 外国からの宿泊者居住地

データなし



③ 旅行の参加形態

他市に比べて**男女グループ、子供連れ家族が多い傾向**



令和7年の圏域内観光動向について

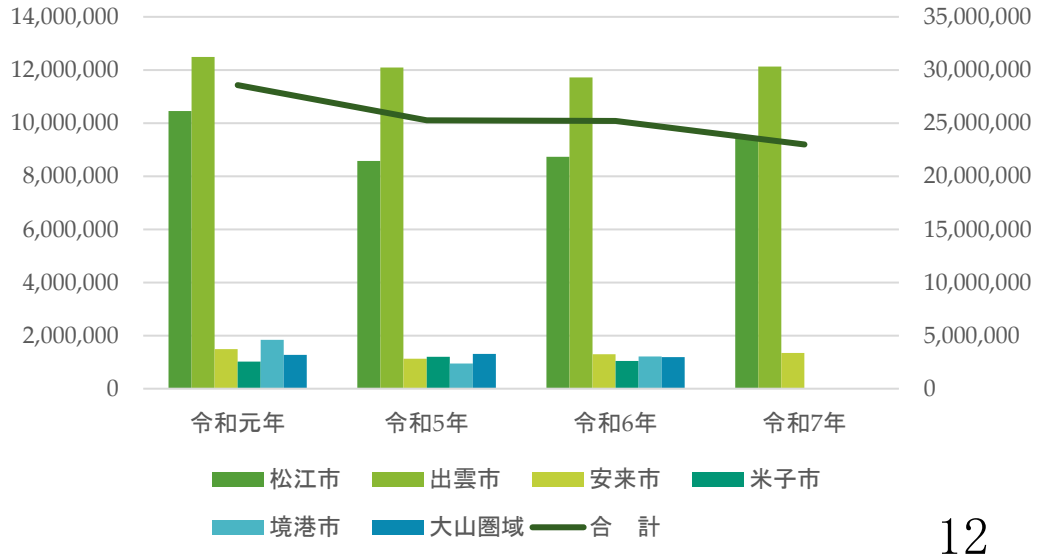
⑶　観光客入込数

観光入込数は、コロナ禍前までには至らないが、回復傾向にある。

	R1	R5	R6	R7
米子市	1,024,000	1,198,000	1,050,000	
境港市	1,845,000	952,000	1,218,000	
松江市	10,459,384	8,569,856	8,734,817	9,509,197
出雲市	12,488,935	12,087,648	11,718,457	12,128,471
安来市	1,489,477	1,134,337	1,295,352	1,350,732
大山圏域	1,267,000	1,313,000	1,194,000	
合　計	24,437,796	21,791,841	21,748,626	22,988,400

※島根県観光動態調査、鳥取県観光入込動態調査より

※島根県観光動態調査は、各市から報告があった観光地点等の入込客の延べ数
※鳥取県観光入込動態調査は、各市から報告があった入込客数に平均訪問観光地点数等を除して得た推計実数（例年夏頃に公表される。）



01ブランディング

ブランディング　　**【決算額　3,765千円】**

Ⅰ　山陰発アニメ「えんむす」YouTubeチャンネル

本圏域に関心を有する層とアニメ「えんむす」（チャンネル登録数16.9万人）の主な視聴者層である30～40代女性との親和性が高いことからターゲット層への効果的な情報発信を目的としてタイアップ事業を実施

◆PR動画配信

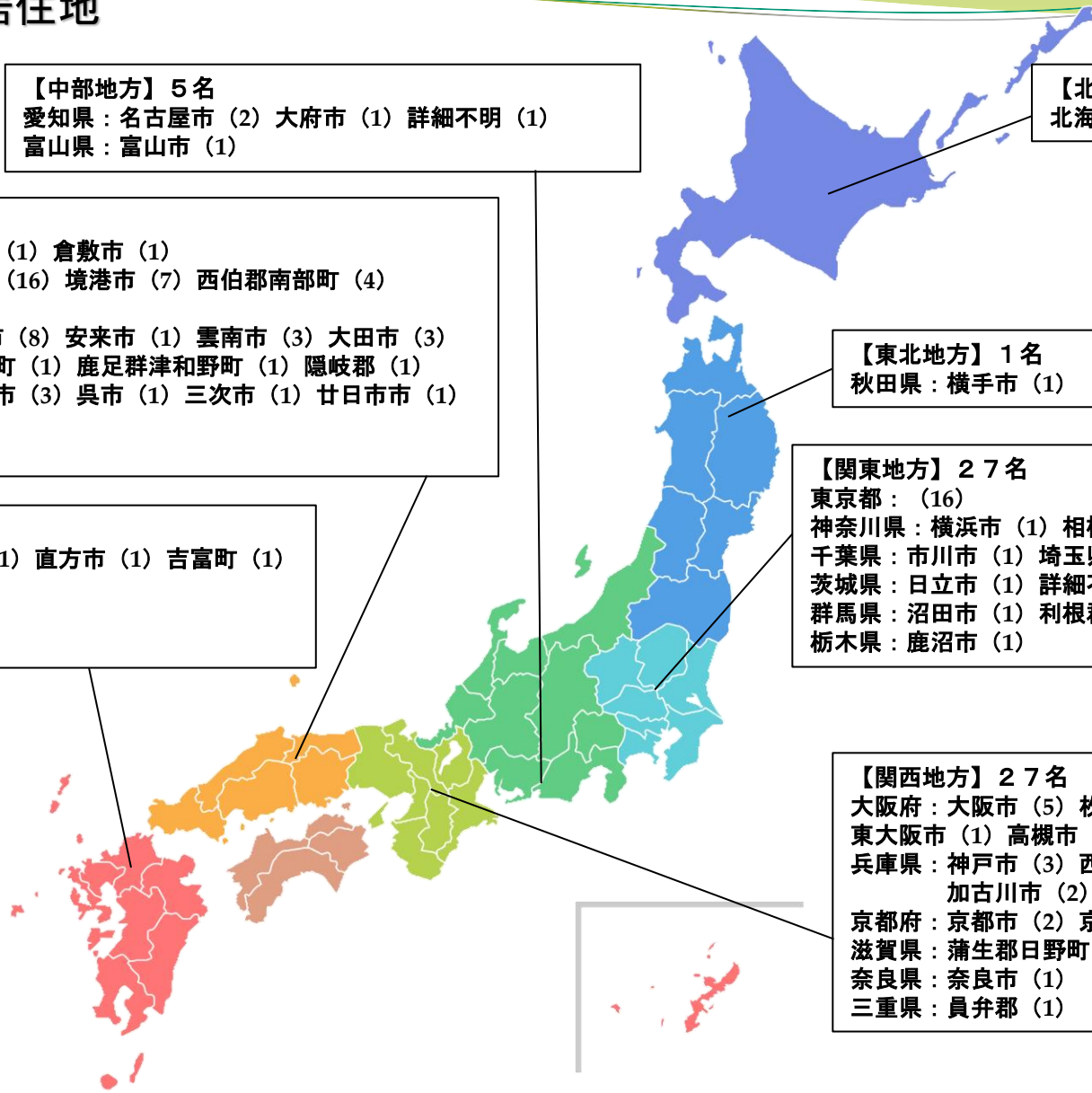
タイトル　：【アニメ】女旅ってピリつくよね～ｗ（いちえより）| えんむす
公開日　　：2025年7月2日(水)18：00～
動画概要　：女子仲間で圏域の名所やグルメを登場させつつ「女子旅あるある」を交えながら巡っていく動画
再生回数　：281,604回視聴、コメント数206件（高評価8,615件）【2026年3月27日現在】

◆圏域周遊キャンペーン

キャンペーン名：山陰まんなか×えんむす周遊キャンペーン
実施期間　　：2025年7月12日～9月30日
販売個数　　：えんむすカプセルトイ　全エリア合計3,600個　※各エリア600個
　　（内訳：ノーマル500個・シークレット100個）
販売期間　　：2025年7月12日～無くなり次第終了
設置箇所　　：圏域内６カ所
応募資格　　：圏域内２エリア以上でカプセルトイを購入した方
当選賞品　　：オリジナルデザインのクッション（抽選で10名）
　　キャンペーン参加者：170名（参加者の居住地は次ページ）



キャンペーン参加者の居住地



【中部地方】５名
愛知県：名古屋市（2）大府市（1）詳細不明（1）
富山県：富山市（1）

【北海道】４名
北海道：札幌市（3）釧路市（1）

【中国地方】９５名
岡山県：岡山市（1）真庭市（1）倉敷市（1）
鳥取県：鳥取市（2）米子市（16）境港市（7）西伯郡南部町（4）
湯梨浜町（1）
島根県：松江市（24）出雲市（8）安来市（1）雲南市（3）大田市（3）
浜田市（3）奥出雲町（1）鹿足群津和野町（1）隠岐郡（1）
広島県：広島市（8）東広島市（3）呉市（1）三次市（1）廿日市市（1）
福山市（1）
山口県：美祢市（2）

【東北地方】１名
秋田県：横手市（1）

【九州地方】９名
福岡県：福岡市（3）福津市（1）直方市（1）吉富町（1）
大分県：宇佐市（1）
長崎県：大村市（1）
熊本県：熊本市（1）

【関東地方】２７名
東京都：（16）
神奈川県：横浜市（1）相模原市（1）湯河原町（1）
千葉県：市川市（1）埼玉県：川口市（1）入間郡三芳町（1）
茨城県：日立市（1）詳細不明（1）
群馬県：沼田市（1）利根郡みなかみ町（1）
栃木県：鹿沼市（1）

【関西地方】２７名
大阪府：大阪市（5）枚方市（1）堺市（2）
東大阪市（1）高槻市（1）富田林市（1）
兵庫県：神戸市（3）西宮市（2）伊丹市（1）川西（1）
加古川市（2）
京都府：京都市（2）京田辺市（2）
滋賀県：蒲生郡日野町（1）
奈良県：奈良市（1）
三重県：員弁郡（1）

【海外】１名
アメリカ（1）

02マーケティングリサーチ

分析・活用　　**【決算額　1,309千円】**

Ⅰ　データ分析・活用事業

各種データの収集・分析を通じて、圏域における観光客の動向やニーズを把握し、データに基づき観光施策を推進することを目的として実施

◆各種オープンデータ活用事業（227千円）

- 各種オープンデータを活用し、観光動向分析を実施するとともに、観光マーケティング及び事業効果検証に活用

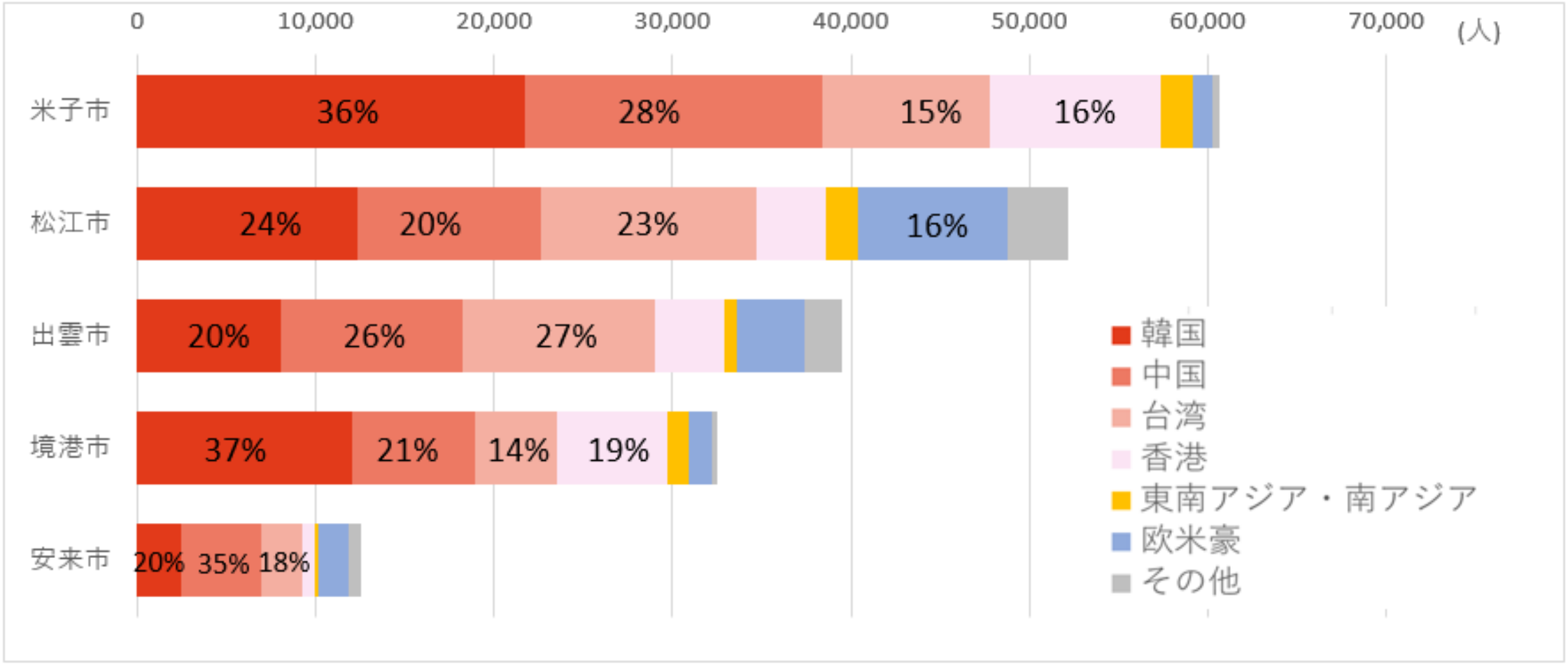
(1)　観光予報プラットフォームの活用
(2)　圏域センサーデータの活用

◆インバウンド観光客動向調査事業（1,000千円）

- 圏域を訪れた訪日外国人旅行者を対象に、人流、消費動向、満足度等の調査・分析を実施し、調査結果を圏域各市と共有の上、今後の誘客施策や受入環境整備の検討に活用

(1)　アンケート調査（2025年4月23日～8月17日、設問25問、調査件数395件）
⇒圏域内の滞在日数平均は、5.1日
(2)　人流計測ツールを用いた調査
①インバウンドプロファイラー【圏域内12市町】
集計期間：2024年８月～2025年７月の通年（最新データを用いた直近の1年間）
② Agoop インバウンドデータ【主要３市である松江市、米子市、出雲市】
集計期間：2025年4月の１か月間

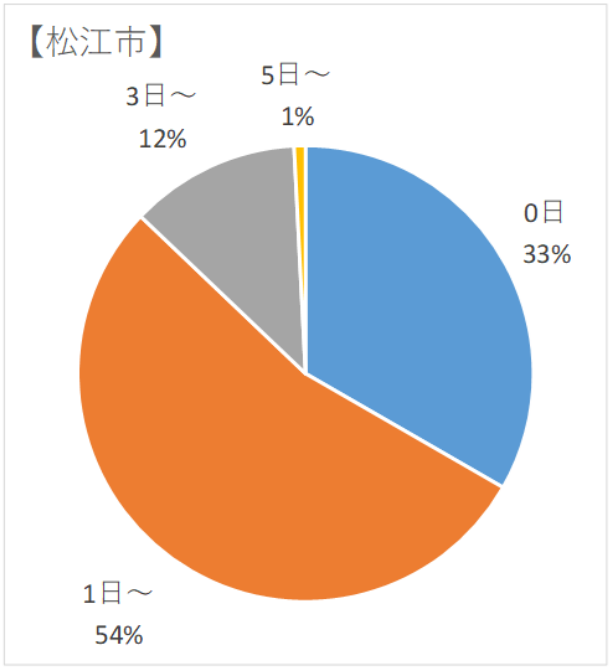
圏域内での滞在人口分布（国籍を大分類化）

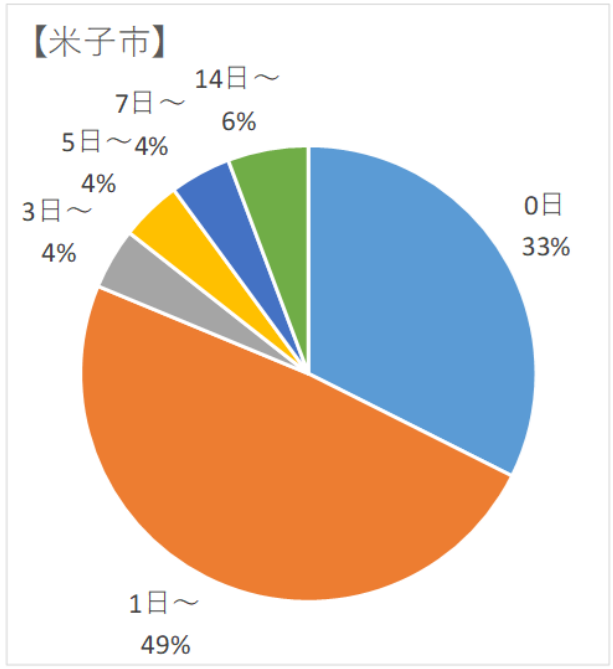


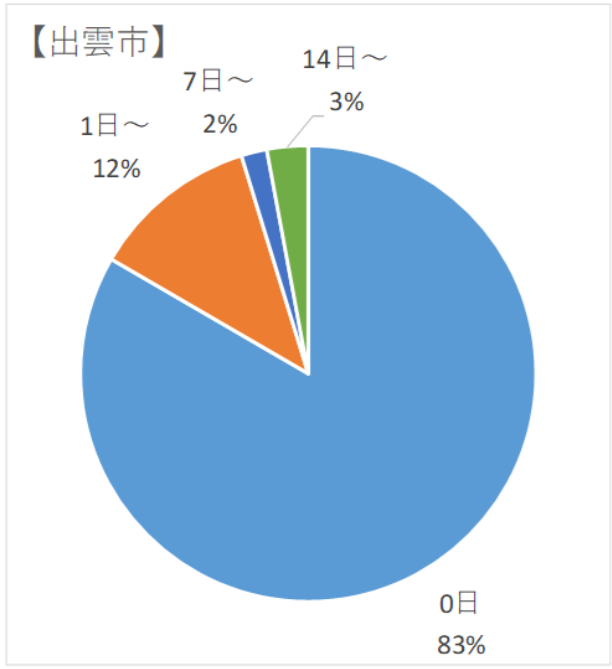
計測条件: 2024年8月～2025年7月までの1年間の月ユニーク推定来訪者数　※21の国籍（その他国籍含む）※カナダは、欧米豪に含む
出典：　ナビタイムジャパン「インバウンドプロファイラー」

上位3市の市内宿泊日数割合

- 市内宿泊日数割合を調べると「松江市」「米子市」で1日以上の宿泊が7割弱を占めている。
- 一方、出雲市では、8割が宿泊を伴わない来訪となっている。







計測条件: 2025年4月の1か月を対象とした。月ユニーク推定来訪者数
246の国・地域を対象とするが中国は除く
出典： agoopインバウンドデータ

上位3市の周遊先市区町村ランキング

- 米子市は、鳥取県、島根県の5市が上位ランキングに入っている。
- 3市とも大阪市、泉佐野市がランキングの1，2位を占めている。

松江市と周遊先市区町村	2025年4月ユニーク来訪者数[人]	順位
大阪市	5,752	1
泉佐野市	4,656	2
京都市	3,835	3
出雲市	3,359	4
成田市	3,060	5
泉南郡田尻町	2,539	6
大田区	2,090	7
神戸市	1,992	8
奈良市	1,972	9
金沢市	1,957	10

米子市と周遊先市区町村	2025年4月ユニーク来訪者数[人]	順位
大阪市	1,808	1
泉佐野市	1,630	2
鳥取市	1,538	3
境港市	1,370	4
岡山市	1,255	5
大田区	1,251	6
倉吉市	1,242	7
泉南郡田尻町	1,038	8
松江市	1,003	9
出雲市	838	10

出雲市と周遊先市区町村	2025年4月ユニーク来訪者数[人]	順位
大阪市	4,490	1
泉佐野市	4,318	2
松江市	3,359	3
京都市	3,127	4
泉南郡田尻町	2,534	5
成田市	2,117	6
奈良市	1,796	7
宮津市	1,506	8
大田市	1,429	9
日光市	1,327	10

計測条件: 2025年4月の1か月を対象とした。月ユニーク推定来訪者数
246の国・地域を対象とするが中国は除く
出典： agoopインバウンドデータ

インバウンドプロモーション　　【決算額　15,196千円】

1　欧米豪向け（9,026千円）

◆英語版ＳＮＳによる情報発信（1,931千円）

➢英語版Facebook及びInstagramの運用委託　月5回程度発信、月1回広告掲載

	平均リーチ数	平均リーチ率	平均いいね数	平均いいね率	フォロワー数
Facebook	961	2.7%	42	6.2%	34,565
Instagram	219	4.8%	43	20%	4,492

◆アドベンチャーツーリズム旅行商品造成、流通環境整備事業（3,500千円）

➢地域固有の自然・伝統・文化資源を活用し、国内外の旅行者に向けたテーマ性・ストーリー性のある「アドベンチャーツーリズム」商品の造成・流通

(1)　アドベンチャーツーリズム資源を分析、整理したデータベースの構築

(2)　FAMトリップの企画・実施

2025年11月24日～26日　2泊3日　（旅行会社等4名）

(3)　旅行商品の造成・販売

①アルバトロストラベル（デンマーク、FAMトリップに参加）がツアーを2回実施

（3月9日～、3月20日～　圏域に2日半滞在、計54名参加）

②クラブツーリズム「首都圏発サイクリングの旅」6月29日～1泊2日（催行予定）

◆「出雲神話ガイドブック」仏語版製作（3,500千円）

➢山陰インバウンド機構が製作した英語版ガイドブックを活用し、同仏語版を250部製作（うち112冊は、フランスの旅行会社等へ送付）

インバウンドプロモーション　　【決算額　15,196千円】

2　韓国市場（1,013千円）

◆オフ期のテレビショッピング補助

- Rich Japanに対して、山陰周遊ツアーの販売経費を補助
  10月22日～3月31日で合計92回のツアー催行　965名の送客、延べ宿泊数は2,535泊

3　台湾市場（2,505千円）

◆一畑グループ台湾事務所への現地情報発信委託事業（330千円）

- 現地旅行会社へのセールスや情報発信などを定期的に実施
- 台北温泉祭・春節前建国花市での旅行商品PR等を実施

◆台北/高雄へのセールスコール（550千円）

- 一畑トラベルサービスの自主企画に対して開催経費を補助
- 台湾ランドオペレーターおよび旅行会社13社へ訪問セールス



◆台北温泉祭（1,145千円）

- 10月30日～11月2日皆生温泉及び圏域の２ブース出展
  一畑台湾事務所と台湾旅行会社による山陰ツアーの紹介や
  タイガーエアー往復航空券・宿泊券が当たる抽選企画等を実施
- ブース来訪者に対して山陰や圏域の温泉地・観光地の認知に関する
  アンケートを実施（サンプル数710件）



◆　春節前建国花市（423千円）

- 2月7日～8日ブース出展・観光PRを実施
- 山陰花めぐりPASS掲載施設のパンフレット等を2日間で各400部配布
- ステージイベントでは、観光PRとクイズ大会を実施

国内プロモーション　【決算額　12,179千円】

1　情報発信

◆山陰まんなか観光情報発信事業（6,000千円）
- 神話が有する観光資源の魅力を伝える動画制作
  様々な用途や利用シーンを想定して、15分、5分、1分、30秒の動画を制作（英語版、仏語版あり）

◆日本語ホームページの管理運営（2,500千円）
- 山陰まんなかアンバサダーによるココビトの綴りの記事掲載（2026年3月31日で契約満了）

◆SNSを活用したWeb広告等情報発信（0千円）
- ４月～6月にかけて、「出雲國神仏霊場20社寺」を巡り、取材を実施
  SNSにてリール動画を制作・発信

◆日本語ホームページの新設（1,188千円）
- ホームページ運営会社の契約が2025年度で満了することに伴い、
  2026年4月から供用開始する新HPを「日本の原風景が残る地」
  として訴求するコンセプトで構築
  ※令和8年度継続事業



国内プロモーション　　【決算額　12,179千円】

2　基幹交通機関と連携した観光プロモーション

◆FDA静岡～出雲路線を活用した相互誘客促進事業（1,154千円）※令和6年度からの継続事業

- 山陰・静岡両エリアの住民が自分の地域の「いいところ」をInstagramに投稿し互いに紹介し合う「山陰＆静岡いいとこシェアリングキャンペーン」を実施

第1弾 7月4日～ 8月3日　第2弾 9月5日～10月5日（合計151件の応募）

【山陰側賞品】

第1弾 FDAペア航空券+宿泊券（3名）ウォレット（1名）名刺入れ（1名）
手ぬぐい（1名）カレンダーorトートバッグ（10名）

第2弾 FDAペア航空券+宿泊券（2名）ビアグラス（1名）バーニャカウダ（1名）
エッグベーカー（1名）カレンダーorトートバッグ（7名）



【静岡側賞品】

第1弾 FDAペア航空券（1名）宿泊券（2名）重ね箱（1名）花器（1名）

第2弾 FDAペア航空券（1名）宿泊券（1名）特産品詰め合わせ（1名）ミナミマグロ（2名）

◆焼津 魚(とと)フェス2025 出展（78千円）

- 静岡県焼津市の焼津漁港で11月15日～11月16日の２日間開催
  松江観光協会・宍道湖漁業協同組合と合同出展
  隣のブースには島根県観光振興課が出展
  来場者数は2日間合計で約4万人
- 前日に焼津市の副市長を表敬訪問





国内プロモーション　　【決算額　12,179千円】

3　お城EXPO in 松江（496千円）

◆特別版 お城EXPO in 松江（6月28日～6月29日）

- 6月28日～29日の2日間開催　来場者合計6,281人
  ブースにてうんぱく三城重ね捺しスタンプを設置
  松江城・月山富田城・米子城の各スタンプ台紙を
  約500枚配布
- うんぱく三城すべてのスタンプを集めた方に
  ステッカーを配布（配布数210枚）







4　その他（404千円）

◆女子旅EXPO2025

- 福岡県福岡市にて10月18日に開催
  来場者583名
  うち半数を上回る322名に対して
  パンフレットを配布







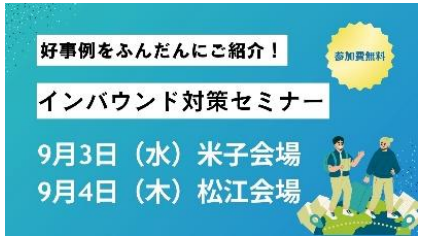
外国人受入環境整備　　【決算額　6,620千円】

Ⅰ　外国人観光客受入環境整備

◆インバウンド対策セミナー（435千円）

- ➢ 9月3日米子会場、9月4日松江会場にて開催
- ➢ 【講師】一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会
  事務局次長・訪日市場チーフアナリスト　神林 淳様
  【テーマ】
  ・なぜインバウンド消費は増加し続けるのか？
  ・インバウンド新時代、ローカルが観光の最前線！
  ・外国人観光客が笑顔になるコツ
- ➢ 米子会場・松江会場ともに15名が参加
  内容に関するアンケートでは「大変満足」との回答が多数









◆多言語パンフレット製作(1,759千円)

- ➢ 山陰まんなかぐるり旅の韓国語、繁体字を製作
  ※データ納品のみ





外国人受入環境整備　　【決算額　6,620千円】

２　クルーズ客船寄港時のおもてなし（3,785千円）

◆岸壁における観光案内・交流イベントの実施
◆外国語観光案内業務及びボランティアの募集登録・管理
- 寄港回数45回のうち、４３回でおもてなしを実施
- お見送りイベントには安来節・米子がいな万灯等の伝統芸能団体や高校生マーチングバンド、ゴスペル歌唱グループなど様々な団体が出演







06 小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業

小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業　　**【決算額　2,963千円】**

Ⅰ　小泉八雲とセツのテレビドラマ放送を契機とした圏域周遊事業

◆八雲伝説デジタルスタンプラリー（2,963千円）

- 9月29日～5月10日で圏域40スポットをめぐるスタンプラリーを実施
- 参加者数673名、スタンプ獲得総数3,950個（一人当たり12個程度）
- 抽選で総勢77名に賞品をプレゼント

30スタンプ：現金5万円　　（2名）　達成者67名　（応募者66名）
20スタンプ：ペアお食事券　（2名）
　　グルメカタログ　（3名）　達成者86名　（応募者71名）
10スタンプ：デジタルギフト券(70名)　達成者149名（応募者126名）



◆ばけ丼提供（0千円）

- ばけ丼実行委員会として松江観光協会と宍道湖漁業協同組合と連携
- 焼津市のマグロ・カツオと、宍道湖のしじみ・境港市のカニを使用したコラボメニュー（ばけ丼）の企画・販売を行う事業者を募集
  現在、松江市内以下6店舗で販売中
  ・食事処かわばた　・小田銀座
  ・スパイス酒場N　・食堂うしお
  ・上天気　・酒場16番
- 松江観光協会ホームページ内（松江めぐり＃010）の特設ページにて情報発信中





07　加入団体会費等

加入団体会費等　　【決算額　1,811千円】

【加入団体】

◆・JNTO賛助金　300,000円
・日本観光振興協議会会費　120,000円
・中国地域観光推進協議会会費　50,000円
・「２１世紀出雲空港整備利用促進協議会」会費　10,000円
　冬季利用促進事業負担金　177,000円
・「米子空港利用促進懇話会」　会費　30,000円
　冬季利用促進事業負担金　720,000円

07　加入団体会費等

中海・宍道湖・大山圏域観光局の運営　　【決算額　8,439千円】

【事業内容】

⑴　圏域観光局総会・理事会の開催経費
⑵　山陰ＤＭＯとの連絡会の出席負担金、旅費
⑶　観光事業の関係者を集めた協議の場の設置、開催経費
⑷　観光局職員の雇用
⑸　ＤＭＯ組織事務局の管理運営費